

(仮称) 別府分団拠点施設新築工事

建 築		構 造		電気設備		機械設備	
図面番号	図面種別	図面番号	図面種別	図面番号	図面種別	図面番号	図面種別
A-00	図面リスト						
A-01	建築工事特記仕様書（その1）	S-01	構造設計標準仕様書	E-01	特記仕様書	M-01	空調換気平面図
A-02	建築工事特記仕様書（その2）	S-02	地盤改良工事特記仕様書	E-02	付近見取り図・配置図	M-02	衛生平面図
A-03	建築工事特記仕様書（その3）	S-03	基礎伏図・RF伏図	E-03	盤単線結線図	M-03	平面詳細図 器具表
A-04	建築工事特記仕様書（その4）	S-04	リスト図	E-04	照明器具参考姿図	M-04	浄化槽設備図
A-05	建築工事特記仕様書（その5）	S-05	鉄骨詳細図	E-05	幹線設備平面図		
A-06	建築工事特記仕様書（その6）	S-06	軸組図	E-06	電灯設備平面図		
A-07	建築工事特記仕様書（その7）			E-07	コンセント設備平面図		
A-08	建築工事特記仕様書（その8）			E-08	弱電設備平面図		
A-09	建築工事特記仕様書（その9）						
A-10	仕上表						
A-11	配置図						
A-12	敷地面積・建築面積・延べ床面積						
A-13	1階平面図・屋根伏図						
A-14	立面図						
A-15	布基礎伏図・床伏図						
A-16	天井伏図・建具キープラン						
A-17	建具表						
A-18	矩計図1						
A-19	矩計図2						
A-20	矩計図3						
A-21	展開図1						
A-22	展開図2						
A-23	展開図3						
A-24	詳細図						
A-25	消防ホース干掛詳細図						
A-26	外構配置図						
A-27	外構詳細図1						
A-28	外構詳細図2						

[illegible]

[illegible]

7

鉄骨工事

①鉄骨製作工場

鉄骨製作工場の加工能力
※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鋼構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める(Ⅲ)グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場・監督職員の承諾する工場(標仕7.1.1以外の適用範囲に限る。)

②鉄骨製作工場における施工管理技術者

③鋼材

④高力ボルト

高力ボルトの区分
・トルシア形高力ボルト
・JIS形高力ボルト
セットの種類 ※2種(F10T)
高圧ボルトの径
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
摩擦面の処理方法
すべり係数試験

⑤普通ボルト

ボルト及びナットの種類
※標仕表7.2.3(JIS附属書品)による
※標仕表7.2.3(JIS附属書品)又は、JIS本体規格品(ISO規格)による場合は、ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルト、強度区分を4.6又は4.8の鋼製とし、ナットの種類を六角ナット-Cの鋼製とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。)

座金
ボルトの径
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

6溶融亜鉛めっき高力ボルト

セットの種類
※1種(F81相当)
溶融亜鉛めっき高力ボルトの径
溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
摩擦面の処理
アンカーボルト

⑦アンカーボルト

適用
・構造用アンカーボルト
・ABR400
・ABR490
・SNR400B
形状、寸法
・建方用アンカーボルト
・SS400
・アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

⑧溶接材料

溶接材料
※標仕7.2.5(1)(2)による
・標仕7.2.5(1)(2)以外の溶接材料
材料及び使用箇所
ねじの呼び

⑨ターンバックル

種類
建築用ターンバックル鋼
※割枠式
建築用ターンバックルボルト
※羽子板ボルト
ねじの呼び

7

鉄骨工事

10床構造用デッキプレート

11スタッド

⑫柱底均しモルタル

⑬工作図

⑭製作精度

15鉄骨の仮組

⑯溶接技能者の技量付加試験

⑰溶接溶接

⑱現場溶接の有無

⑲入熱、バス間温度の溶接条件

⑳溶接部の試験

材料、形状及び寸法
・デッキプレート単独の構法
・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法
床型枠を使用する場合において、受注者は施工に先立ち施工の安全性を確認すること。
開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む)
鉄骨部材への溶接方法
耐火認定
・有り
耐火時間
・無し
材料、形状及び寸法
※頭付きスタッド JIS B 1198
呼び名
呼び長さ(mm)
適用箇所
モルタルの種類
・無収縮モルタル
無収縮モルタルの材料、調合等
※標仕表7.2.9(2)(7)から(1)による
・標仕表7.2.9(1)によるモルタル
監督職員による確認
・行わない
増築工費等を含め、既存建築物との取り合う箇所がある場合は現場実測のうえ、作成を行う。
鉄骨の製作精度は、JISS 6 付則6「鉄骨精度検査基準」に加えて次による
通しダイヤフラムの突合合わせ継手の食い違い寸法
※H12建造第1464号第二号イ(2)による
アンダーカットの寸法
※H12建造第1464号第二号イ(3)による
食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法
・「突合合わせ継手の食い違い・仕口のずれの検査・補強マニュアルによる」
・行わない
・行う
仮組を行う範囲
・図示による
試験の要領及び試験を要する溶接箇所
・図示による
開先の形状
・図示による
スカラップの形状
・図示による
エンドタブの切断する部分
・全て
・見え掛り部となる部分
・切断する部分なし
切断する範囲
・エンドタブ、裏あて金等は、梁フランジの端から直線上に切断する。その際の実寸法は、5mm以下とする。なお、切断面が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。
切断面の仕上げ
・標仕7.6.7(1)(b)②による
溶接部の余盛り高さ
※JASS 6 付則6「鉄骨精度検査基準」付表3「溶接」による
低応力高サイクル疲労を受けする部位
・図示による
・無し
・有り
適用箇所
・図示による
鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件
・図示による
適用箇所
・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
・図示による
完全溶込み部の超音波深層試験
・行わない
※行う
・工事溶接の場合
・全数検査
・抜取検査
ADQL(%)
・A.0
・2.5
・全て
・第6水準
・工事現場溶接の場合
・全数検査
・計数連続生産型抜取検査
ADQL(%)
・4.0
・2.5
突き合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査
「突き合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・マニュアル(建築研究所監修)」による
・抜き取り検査 ①
・抜き取り検査 ②
JASS 6 付則6「鉄骨精度検査基準」の付表3「溶接」に関する試験方法等
・JASS 6 10.4(突入検査) e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波深層試験の試験箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。

7

鉄骨工事

21錆止め塗装

⑫耐火被覆

⑬建方精度

⑭アンカーボルト等の設置

⑮軽形鋼構造

⑯溶融亜鉛めっき(構造耐力上主要な部分)

27梁貫通孔の補強

8コンクリートブロック・ACパネル・押出成形セメント板工事

1補強コンクリートブロック造

2コンクリートブロック帳壁及び壁

材料の種類
・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内の錆止め塗料(鉄骨に溶接されたものに限る)
※標仕表18.3.1 A種
・塗装を行う耐火被覆材の接着する面
適用箇所
・図示による
塗料の種類
・標仕表18.3.1()種
・標仕表18.3.2()種
種類
種別
材料・工法
性能(耐火時間)
適用箇所(部位・部分)
・耐火材吹付け
・乾式吹付けロックウール
・半乾式吹付けロックウール
・湿式ロックウール
・耐火板張り
・繊維混入けい酸カルシウム板
・耐火材巻付け
・高断熱ロックウール
・ラス張り
モルタル塗り
・耐火塗料
材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする
※(一社)日本建築学会「JASS6鉄骨工事」付則6「鉄骨精度基準」付表5「工事現場」による
建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法
種別
・A種
・B種
構造用アンカーフレームの形状及び寸法
種別
・図示による
柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種類
※標仕表7.10.2
※A種モルタル厚さ()
・B種モルタル厚さ()
接合部(ボルト接合の場合)
・普通ボルト接合
もや、鋼線類の取付け用ボルトを普通ボルト接合とする場合は、二重ナットとする。
種別等
垂鉛めっきの種類
材料
適用部位
A種
最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板
B種
最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板
C種
普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類
最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板
素地ごしらはJIS H 8641による
適用箇所
※図示による
補強方法
・補強プレート法
・補強トラス法
適用箇所
※図示による
ブロックの種類等
断面形状及び圧縮強さによる区分
正味厚さ(mm)
モジュール呼び寸法(mm)
長さ
高さ
化整の有無
適用箇所
備考
※空洞ブロックC(16)
・120
・400
・200
・150
・無
・有
・無
・有
モルタルの調合(容積比)
・セメント()
砂()
各部の配筋
※図示
モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲
※図示
ブロックの種類等
断面形状及び圧縮強さによる区分
正味厚さ(mm)
モジュール呼び寸法(mm)
長さ
高さ
化整の有無
(表8.3.1)以外の適用箇所
備考
・空洞ブロックC(16)
・120
・400
・200
・150
・無
・有
・無
・有
・無
・有
壁の厚さ
壁の高さが2m以下
・120
壁の高さが2mを超え
・150
壁鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状
※図示
各部の配筋
※図示
化整目地の有無
・無
・有
工法
コンクリートブロック積層型の積高さは、壁厚の25倍かつ3500以内とし、その他の部分は同厚の鉄筋コンクリート造垂壁とする

8

コンクリートブロック・ACパネル・押出成形セメント板工事

3ALCパネル

4押出成形セメント板(ECF)

9防水工事

1アスファルト防水

パネルの区分
単位荷重(N/㎡)
厚さ(mm)
幅(mm)
耐火性能
表面加工
構法の種別
・外壁用
・間仕切壁用
・屋根用
・床用
パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
パネル短辺小口相互の接合部、外壁、間仕切壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り付け部の目地幅(mm)
※10~20
外壁、間仕切壁パネルの伸縮調整目地への耐火目地材の充填
・適用する
・適用しない
外壁、屋根パネルの構法
外壁パネル構法及び間仕切壁パネル構法における耐震性能
パネルの種類
形状
厚さ(mm)
幅(mm)
工法の種別
耐火性能
・F
・F-R
・50
・450
・A種
・30分
・D
・D-R
・60
・600
・B種
・1時間
・2時間
・T
・T-R
・100
・間仕切壁パネル
・F
・F-R
・50
・450
・B種
・30分
・D
・D-R
・60
・600
・C種
・1時間
・2時間
・T
・T-R
・100
注) F:フラットパネル、D:デザインパネル、T:タイルベースパネル
パネル幅の最小限度を300mm未満とする場合
パネル相互の目地幅(mm)
※長辺()
出隅及び入隅のパネル接合部目地の目地幅(mm)
※15
耐火構造以外の目地及び隙間の処理
※パネルの製造所の仕様やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とし、欠損部分を考慮した強度を確認した施工計画書を提出する。
孔あけ及び欠き込みの大きさ
切断後のパネルの残り部分の幅
パネルに孔あけを設ける場合
短辺
・パネル幅の1/2以下かつ300mm以下
・150mm以下
長辺
・500mm以下
・300mm以下
パネルに欠き込みを設ける場合
短辺
・パネル幅の1/2以下かつ300mm以下
・300mm以下
長辺
・500mm以下
・300mm以下
屋根保護防水
防水層の種類
種別
施工箇所
断熱材
G
絶縁用シート
立上り部の保護方法
・A-1
・A-2
・A-3
・B-1
・B-2
・B-3
・A-1-1
・A-1-2
・A-1-3
・B-1-1
・B-1-2
・B-1-3
※ポリスチレンフィルム
厚さ0.15mm以上
又はフラットヤーンクロス
70g/㎡程度
※フラットヤーンクロス
70g/㎡程度
・れんが押さえ
(JIS R 1250)
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分
※R種
厚さ
mm以上
※標仕表9.2.3及び標仕表9.2.4による
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分
※R種
厚さ
mm以上
※標仕表9.2.5及び標仕表9.2.6による
立上り部への断熱材及び絶縁シート
・設置しない
・設置する
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ
※水下
80mm以上
床タイル張り
※水下
60mm以上
立上り部の保護方法
・乾式保護材
商業系パネル:無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの(品質・性能・試験方法)
建築材料等品質性能表による

月・日

令和

設計年月

令和

工事名称

(仮称)別府分団拠点施設新築工事

図面番号

A-03

図面名称

建築工事特記仕様書(その3)

縮尺

NO. SCALE

図面番

A-03

株式会社 田代設計工房

〒892-0818 鹿児島市上本町3番9号

1級建築士 大臣登録 145118号 田代 昌弘

TEL 099-248-7338 FAX 099-248-7152

承諾

部長

防水工事
続き

⑨

1 アスファルト防水
(続き)

屋根露出防水

防水層の種類

種 別	施工箇所	断熱材 ㊥	仕上塗料		備 考
			種類	使用量	
・D-1		標仕 9.2.2(9) (種類)	・アスファルト ルーフィング類 の製造所の仕様	・アスファルト ルーフィング類 の製造所の仕様	
・D-2					
・D-3					
・D-4					
・D1-1		(厚さ) ※25mm ・50mm			
・D1-2					

高日射反射率防水の適用 ㊥ ・有 ※無

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示 ・

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の、脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・ ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量 ・ 個 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定

防水層の種類

種 別	施工箇所	種 別	施工箇所
・E-1		・E-2	

保護層 ・設ける(※図示 ・) ・設けない

防水層下地の立上り
※コンクリート打放し仕上げ 標仕 表6.2.4[打放し仕上げ種別]のB種 ・
押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度 ・
防水層の下地のモルタル塗り ・適用する(施工範囲 ※図示 ・) ・適用しない

屋根排水溝 ※図示 ・
施工標準 ※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標準を取り付ける

2 改質アスファルト
シート防水

防水層の種類

[9.3.2、3] [表9.3.1~3]

種 別	施工箇所	断熱材 ㊥	防湿用シート	仕上塗料		備 考
				種類	使用量	
・AS-T1		標仕 9.3.2(3)(㊦) (種類)	・設ける (改質アス ファルトシー トの製造所の 仕様による)	・改質アス ファルトシー トの製造所の 仕様		
・AS-T2						
・AS-T3						
・AS-T4						
・AS-J1						
・AS1-T1		(厚さ) ※25mm ・ 50mm ・				
・AS1-J1						

高日射反射率防水の適用 ㊥ ・有 ※無

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※標仕 表9.3.1から表9.3.3による
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※R種
厚さ ・ mm以上

粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※R種
厚さ ・ mm以上

※標仕 表9.3.2から表9.3.3による

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※R種
厚さ ・ mm以上

※標仕 表9.3.2から表9.3.3による

押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L=30×15×2.0mm程度 ・

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の、脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・ ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量 ・ 個 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
施工標準 ※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標準を取り付ける

3 合成高分子系
ルーフィングシート防水

[9.4.2~4] [表9.4.1~3]

種 別	施工箇所	可塑剤移行防 水シートの材質	断熱材 ㊥	仕上塗料		備 考
				種 類	使用量	
・S-F1		※発泡ポリエ チレンシート	標仕 9.4.2(3) (㊦)	・ルーフィング シートの製造所の 仕様	・ルーフィング シートの製造所の 仕様	
・S-F2						
・S-M1						
・S-M2						
・S1-F1		※発泡ポリエ チレンシート	(㊦)	・ルーフィング シートの製造所の 仕様	・ルーフィング シートの製造所の 仕様	
・S1-F2		(厚さ) ※25mm ・				
・S1-M1			標仕 9.4.2(3) (㊦)(a)による (種類)	・ルーフィング シートの製造所の 仕様	・ルーフィング シートの製造所の 仕様	
・S1-M2		※発泡ポリエ チレンシート	(厚さ) ※25mm ・			

高日射反射率防水の適用 ㊥ ・有 ※無

防水工事
続き

⑨

3 合成高分子系
ルーフィングシート防水

S1-F1、S1-F2、S-M1及びS-M2の仕様
・非歩行仕様 ・軽歩行仕様
S1-M1及びS1-M2における防湿フィルム
・設置する ・設置しない
S-M2又はS1-M2の立上り部の工法
・接着工法 立上り面のシート厚さ ・ ※1.5mm
・機械的固定方法

屋内防水

種 別	施工箇所	保 護 層		立上り部の保護 モルタル塗厚
		平場のモルタル塗り		
		塗厚		
・S-C1				※7mm以下 ・

屋内保護密着工法
平場のモルタル塗りの目地 ・種類 ・目地割 ・図示
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
「JIS A 6008」に基づく種類及び厚さ
種類 ・
厚さ ・
※標仕 表9.4.1から表9.4.3による

接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・ ※ルーフィングシートの製造所の仕様
設置数量 ・ 個 ※ルーフィングシートの製造所の仕様

固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した銅板、ステンレス銅板又はそれら銅板の片面若しくは両面に樹脂を
積層加工したもの

接着工法においてプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う(・図示 ・)
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り(種別S-F1、S1-F1の場合)
・行う(・図示 ・)
機械式固定方法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
1章 適用区分による風圧力の(・1.0 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

施工標準 ※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標準を取り付ける

4 塗膜防水

防水層の種類

[9.5.3] [表9.5.1、2]

種 別	施工箇所	仕上塗料		保護層	備 考
		種 類	使用量		
・X-1		・主材料の製造 所の仕様	・主材料の製造 所の仕様 ・		
・X-2		・主材料の製造 所の仕様	・主材料の製造 所の仕様 ・		
・Y-1	・地下外壁防水 ・				
・Y-2	・屋内防水 ・			・適用する ・適用しない	

高日射反射率防水の適用 ㊥ ・有 ※無

ウレタンゴム系塗膜防水X-1(絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ・ ※主材料の製造所の仕様
設置数量 ・ 個 ※主材料の製造所の仕様

ゴムアスファルト系塗膜防水Y-1、Y-2の工程数及び各工程の使用量
・
※主材料の製造所の仕様

施工標準 ※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標準を取り付ける

5 ケイ酸質系塗布防水

防水層の種類

[9.6.1、3、4] [表9.6.1、2]

種 別	施工箇所	種 別	施工箇所
・C-SUP1		・C-SUP	

防水層の下地
壁 (・ ※コンクリート打放し仕上げ(表6.2.4 B種))
天井部 (・ ※コンクリート打放し仕上げ(表6.2.4 B種))

下地処理
コンクリートの打継ぎ箇所の処理
・図示 ・
・打継ぎ部分に対し、幅30mm程度の目地棒を用いる、水洗い清掃後、防水剤製造所の指定する材料を
充填する

型枠締付け材にコーンが使用されている部位及び防水剤の塗布面以外の下地処理
・図示 ・

防水工事
続き

⑩

① 施工

石材の割付け ・図示 [10.1.3、5]
粗面仕上げの場合のみみ込みとなる部分の仕上げ
・図示 ・
屋内の床を本磨きとする場合のワックス掛け
・行う(適用場所 ・すべて ・) ・行わない

2 石材等

[10.2.1、3] [表10.2.1、2]

施工箇所	岩石の種類	等 級	形状及び寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面仕上げ の種類	備 考
・玄関	大理石	※1等品	※正方形に近い矩形 (石材1枚の面積が0.8㎡以下)	・図示	・粗磨き ・本磨き	
		※2等品	※正方形に近い矩形 (石材1枚の面積が0.8㎡以下)	・図示	・粗磨き ・本磨き	

ジェットバーナー仕上げのバブ仕上げの有無
・有 ・無

テラゾブロック

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	形状に よる区分	仕上げ面に よる区分	寸法 (mm)	表面仕上げ の種類	備 考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面	・図示		

テラゾタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ (mm)	寸法による区分	表面仕上げ の種類	備 考
	※大理石 ・花こう岩	※1.5~12 ・	・300型 ・400型		

取付け用モルタル、既調合の目地モルタル、石裏面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する
充填材料等
※専門工事業者の指定する製品 ・

3 外壁湿式工法

[10.2.2、3] [10.3.2、3]

受金物 材質 ※SUS304 ・
形状及び寸法 ・L-75×75×6(mm)の加工 長さ=100mm
・L-75×75×6(mm)の加工 長さ=150mm

アンカーの材質及び寸法 ※SS400 ・ 寸法 ・
あと施工アンカーの材質及び寸法等 種類 ・ 材質 ・ 寸法 ・
ドレンパイプの材質 ・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25~35φ ・
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
下地ごしらえ ※流し筋工法 ・あと施工アンカー工法 ・あと施工アンカー、横筋流し工法

目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上 ・
シーリング材 目地幅 ・標仕(表9.7.1) による
伸縮調整目地 位置 ※標仕 表11.1.1による ・図示
シーリング材 ・標仕(表9.7.1) による
目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 ・図示

4 内壁空積工法

[10.2.2] [10.4.2、3]

受金物 材質 ※SUS304 ・
形状及び寸法 ・L-75×75×6(mm)の加工 長さ=100mm
・L-75×75×6(mm)の加工 長さ=150mm

アンカーの材質及び寸法 ※SS400 寸法 ・
あと施工アンカーの材質及び寸法等 種類 ・ 材質 ・ 寸法 ・
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
下地ごしらえ ※あと施工アンカー、横筋横流し工法 ・あと施工アンカー工法

目地 一般目地 目地幅(mm) ※6以上 ・
シーリング材 目地幅 ・標仕(表9.7.1) による
伸縮調整目地 位置 ※6mごと ・図示
シーリング材 ・図示
目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 ・図示

5 外壁乾式工法

[10.2.2] [10.5.2、3] [表10.2.4]

乾式工法による金物の種類、形状、寸法等 [10.2.2] [10.5.2、3] [表10.2.4]
※標準表10.2.1による
(右式 ・スライド方式 ・ロッキング方式)
(・図示による)
アンカーの材質及び寸法 ※ステンレス (SUS304) M10 ・
あと施工アンカーの材質及び寸法等 (・) 種類: 材質: 寸法: ・
だぼ用の穴の位置 ※標仕 10.5.2(2)(7)による ・図示
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
建築基準法に基づく耐風圧に対応した工法
1章 適用区分による風圧力の(・1.0 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

目地 目地幅及び深さ(mm) ※8以上 ・
シーリング材
※標仕(表9.7) による ・図示

6 床及び階段の石張り

[10.6.2、3]

床石張りの浸透性給水防止剤 ・適用する ・適用しない
床石張りの石裏面処理 ・適用する ・適用しない
階段張りの石裏面処理 ・適用する ・適用しない
目地 一般目地 目地幅(mm) ・図示 ・
・屋外 4以上 ・屋内 3~6
シーリング材 ・適用する ・適用しない
伸縮調整目地 位置 ※床面積30m2程度ごと、細長い通路の場合6m程度ごと及び他の部材と
取り合う箇所
・図示
シーリング材の目地寸法
※幅・深さとも10mm以上
・図示

7 笠木、甲板等の石張り

取付け工法 ・外壁湿式工法 ・乾式工法
石材の厚さ ・ mm
特殊部位用金物 ※標仕 10.2.2(3) ・
材質 ※ステンレス (SUS304)
寸法 引金物 ・
だぼ ・
かすがい ・
受金物 ・

乾式工法による金物の種類、形状、寸法等
ファスナー ・図示 ・標仕(表10.2.4) に準ずる
(方式: ・スライド方式 ・ロッキング方式)
あと施工アンカーの材質及び寸法等 種類 ・ 材質 ・ 寸法 ・
石裏面処理 ・適用する ・適用しない
乾式工法の場合の取付け代 ※70mm程度
石材の裏面の補強用モルタル ・適用する ・適用しない

⑪
タイ
ル
工
事

① 伸縮調整目地及び
ひび割れ誘発目地

[11.1.3] [表11.1.1]

位置 ※標仕 表11.1.1による ・図示
目地寸法 ※標仕 表9.7.3による ・図示

② セメントモルタルに
よるタイル張り

[11.2.2、3、6]

タイルの形状、寸法等 [11.2.2、3、6]
施工 種類 形状/寸法(mm) I 類 II 類 III 類 施ゆう 無ゆう 有 無 標準 特注 材料の
適用 ㊥ 有 無 備考
ポーチ
玄関 150 〇 ・ ・ ・ 〇 〇 〇 〇 ・ 〇 ・
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ※行わない
見本焼き ・行う ※行わない
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・目荒し工法(高圧水洗処理) 〇MOR工法 ・
壁タイル張りの工法
内装タイル ・密着張り ・改良圧着張り
外装タイル ※密着張り ・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り
既設鋼合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を
予め工場において所定の割合に配合した材料とする
(品質・性能・試験方法) 建築材料等品質性能表による

3 有機系接着剤による
タイル張り

[11.3.2~4、7]

タイルの形状、寸法等
施工 種類 形状/寸法(mm) 吸水率による区分 I 類 II 類 III 類 施ゆう 無ゆう 有 無 標準 特注 材料の
適用 ㊥ 有 無 耐滑
り性 備考
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ※行わない
見本焼き ・行う ※行わない
接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ・
目地のシーリング材
打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・
ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ・
伸縮調整目地 ※変成シリコン系シーリング材 ・
その他の目地 ※変成シリコン系シーリング材 ・
下地調整塗材塗りを行うコンクリート素地面の処理
・MOR工法 ・目荒し工法(高圧水洗処理) ・

④ 階段滑り止め

※磁器製(150角) ・
・(・)

月・日
・
・
・

設計年月
令和 ・
承認 部長

工事名称
(仮称) 別府分団拠点施設新築工事
図面名称 建築工事特記仕様書 (その4)
縮尺 NO. SCALE

図面番号
A-04

株式会社 田代設計工房
〒892-0818
鹿児島市上本町3番9号

1級建築士 大庭豊雄 145118号 田代 昌弘
TEL 099-248-7338 FAX 099-248-7152

[illegible]

17カーテンウォール工事

1取付方法、性能等

[17.1.3][17.2.2][17.3.2]

取付方法・層間方式・柱・梁方式・方立方式・スバンドレル方式・性能

耐震性能	耐風圧性	水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性能
						・30分 ・1時間

耐温度差性・80℃・70℃・60℃

耐風圧性
適用区分による風圧力の(・1.0・1.3)倍の風圧力に対応した工法

主要部材の耐風圧性能(ガラスを除く)

支点間距離(h)	耐風圧性能	状 態
4m以下	・たわみ量が±(1/150)×hかつ絶対量20mm以下であること	部材の脱落、ガラスの破壊及び主要部材に有害な歪みが起こらないこと。
4mを超える	・	

耐震性能
性能の確認及び判定方法・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し監督員の承諾を受ける。

金属材料の種類・アルミウム材・鋼材・ステンレス鋼材
シーリング材の種類(目地等)種類及び寸法・図示
ガラスの取付け材料・シーリング種類・SR-2・SR-1
支持方法・4辺指示
断熱材種類()厚さ(mm)()施工箇所・図示
製品及び取付位置の寸法許容差※標仕17.2.1~3による
ガラス溝の寸法、形状※製造所の仕様による
耐火処理
適用部位・図示
材料、種別・図示

2メタルカーテンウォール

[17.2.2, 3, 5, 6]

金属材料の種類・アルミウム材・鋼材・ステンレス鋼材
シーリング材の種類(目地等)種類及び寸法・図示
ガラスの取付け材料・シーリング種類・SR-2・SR-1
支持方法・4辺指示
断熱材種類()厚さ(mm)()施工箇所・図示
製品及び取付位置の寸法許容差※標仕17.2.1~3による
ガラス溝の寸法、形状※製造所の仕様による
耐火処理
適用部位・図示
材料、種別・図示

3PCカーテンウォール

カーテンウォールの材料

[17.3.2~5][表17.3.1, 2]

コンクリート種類・普通コンクリート軽量コンクリート1種・品質※標仕17.3.2(1)(4)による
鉄筋※SD295A(・D13・D10)
補強鉄線の径(mm)※3.2・4.0・5.0・6.0
配筋※図示
シーリング材の種類(目地等)種類及び寸法・
先付けの材料・建具枠・ゴンドラ用ガイドレール
表面仕上材・石材(・花こう岩・大理石・)・セラミックタイル
ガasketを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)・h=-1~+2、W1及びW2=±1
製品及び取付位置の寸法許容差※標仕表17.3.1, 2による
ガラスの取付け方法
ガラスの取付け材が構造用ガasketで覆層ガラス等を使用する場合は、排水機能の設置及びガラスの封着処理の強化を行う。

18塗装工事

①材料

[18.1.3]

内部に使用する塗料は、原則水性系のもとする
屋内に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・防火材料※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所：)

②素地ごしらえ

[18.2.2~7]

下地面等	種 別
木 部	不透明塗料塗りの場合※A種・B種 透明塗料塗りの場合※B種・A種
鉄鋼面(DP以外)	※C種・A種・B種
鉄鋼面(DPのみ)	※C種・A種・B種
垂れめっき鋼面	・A種・B種
モルタル面及びプラスター面	※B種・A種
コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面及び押出成形セメント板面	・A種・B種
コンクリート面(DPのみ)、ALCパネル面及び押出成形セメント板面	・A種・B種
せっこうボード面及びその他	目地：継目処理工法※A種・B種 ボード面目地：継目処理工法以外※B種・A種

[18.3.2, 3]

下地面等	塗料の種類別	錆止め塗料の種類別	錆止め塗料塗りの工程
鉄鋼面	SOP・A種 DP・C種及びD種 EP-G・A種・B種	見え掛り：A種、見え隠れ：B種 標仕(表18.3.4) 見え掛り：A種、見え隠れ：B種	
垂れめっき鋼面	SOP ・鋼製建具等 ・A種・B種 ・その他 ・A種・B種	鋼製建具等：A種 上記以外：B種	
DP	・B種	鋼製建具等：A種 上記以外：B種	
EP-G	・C種	鋼製建具等：A種 上記以外：B種	

[18.4.1~18.12.2]

塗 装	種 別	塗料の種類	高日射反射率塗料の適用
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外※A種・B種 木部屋内※B種・A種 鉄鋼面※B種・A種 垂れめっき鋼面―	・A種・B種 ・A種 ・A種 ―	・ ・適用する ・適用する
・クリヤラッカー塗り(CL)	※B種・A種	―	―
・アクリル樹脂系非水分散型塗装塗り(NAD)	※B種・A種	―	―
・耐候性塗料塗り(OP)	鉄鋼面― 垂れめっき鋼面― コンクリート面及び押出成形セメント板面・A種・C種	― ― ―	― ― ―
・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	コンクリート面、モルタル面、せっこうボード面、その他ボード面等 屋内の鉄鋼面	※B種・A種 ※B種・A種	― ―
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)	※B種・A種	―	―
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UO)	※B種・A種	―	―
・オイルステイン塗り(OS)	※水性・油性	―	―
・木材保護塗料塗り(WP)	※B種・A種	―	―

高日射反射率塗料を適用する場合の適用箇所は屋上、屋根面の金属面とする。

クリアラッカー塗(CL)A種の工種2の適用
・適用する(着色剤：・溶剤系接合剤・油性染料接着剤)
・適用しない
・高日射反射率塗料塗り

工 程	塗料その他			塗付け量(kg/㎡)
	規格番号	規格名称	種 類	等 級
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	2種	・1級・2級・3級

塗料製造所の仕様による

5フッ素樹脂塗装

打放しコンクリート面保護工法
(下塗材)水性 浸透性吸水防止材
(上塗材)・水性フッ素樹脂クリアー
・水性フッ素樹脂カラークリアー

素 材	焼付種別	仕 上 げ	コート	ベーク	部 位
・アルミニウム	・フッ素樹脂 ・ウレタン樹脂 ・アクリル樹脂	・ソリッド ・メタリック			
・ステンレス	・フッ素樹脂 ・ウレタン樹脂 ・アクリル樹脂	・ソリッド ・メタリック			
・垂れめっき鋼板	・フッ素樹脂 ・ウレタン樹脂 ・アクリル樹脂	・ソリッド ・メタリック			

6焼付塗装

19内装工事

①接着剤

[19.2.2]

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外
・
接着剤は可塑剤(難燃性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類・図示

2ビニル床シート

[19.2.2, 3]

種 別	JIS記号	施工箇所	色 柄	特殊機能	厚さ(mm)	備考
※発泡層のないもの	※FS(複層ビニル床シート)		・無地 ・マフメ柄	・帯電防止 ・耐動荷重性	※2.0	
・発泡層のあるもの			・無地 ・柄物	・防滑性 ・耐薬品性		

工法※熱溶接工法・

3ビニル床タイル

[19.2.2]

JIS記号	施工箇所	色 柄	寸 法	特殊機能	厚さ(mm)	備考
・FT (複層ビニル床タイル)		※無地 ・柄物		・帯電防止 ・防滑性		
※KT (20'ジャンビニル床タイル) ・TT(単層ビニル床タイル)		※無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・500×500	・帯電防止 ・防滑性	・2.0 ・2.5 ・3.0	
※FOA (置敷きビニル床タイル) ・FOB(置敷きビニル床タイル)		・無地 ・柄物		※帯電防止 ・防滑性		

置敷きビニル床タイル(FOA・FOB)の接着剤は粘着はく離形とし、製造所の指定する製品とする

・帯電防止ビニル床タイル(パネル一体タイプ)
右に示す製造所の商品程度とする()
・耐熱性ビニル床タイル
右に示す製造所の商品程度とする()

4ビニル幅木

[19.2.2]

材質※軟質・硬質
高さ(mm)※60
厚さ(mm)※1.5以上

[19.2.2]

色柄()
厚さ(mm)・3.0・4.5・6.0・9.0
寸法(mm)()

6カーベット敷き

[19.3.2, 3][表19.3.1, 2]

バイル形状	種 別	施工箇所	寸 法	総厚さ(mm)	備 考
※ループバイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットバイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	帯電防止及び防汚加工品
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	

色柄※無地・柄物
タイルカーベットの敷き方平 場※市松敷き・模様流し
階段部分※模様流し・市松敷き
見切り、押え金物・適用する(材質、形状等※図示)
※適用しない

7合成樹脂塗床

[19.4.2, 3][表19.4.1~8]

種 別	施工箇所	工 法	仕 上 げ の 種 類
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床		※平滑仕上げ ・防滑仕上げ・つや消し仕上げ	
※薄膜型塗床材 15'ウレタン樹脂系塗床		※薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			

塗料のホルムアルデヒド放散量※規制対象外・

⑧フローリング張り

[19.5.2~5][表19.5.1~5]

単層フローリング

種 類	工 法	樹 種	厚 さ (mm)	大 小 寸	仕上塗装	間伐材等の適用
・70'ワンボード1等	・釘留め工法(根太張り) ・釘留め工法(直張り) ・接着工法	・ ・ ・	15 ・12以上 ・8以上	振幅75 板長さ400以上 振幅75 板長さ400以上	・塗装品 ・無塗装品	・有り ・なし
・70'ワンボード1等	・接着工法	・	15	303×303	・塗装品 ・無塗装品	・有り ・なし

複合フローリング

種 類	工 法	樹 種	厚 さ / 大 小 寸 (mm)	種 別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の適用
・天然木化粧複合フローリング	・釘留め工法(根太張り) ・釘留め工法(直張り)	※なら ・ ・	※なら ・ ・	・A種 ・B種 ・C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・有り ・なし
・接着工法	※なら ・	板厚・12以上 ・ ・ 振幅・75以上 板長さ400以上	・ ・ ・				・有り ・なし

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量※規制対象外
接着工法の場合の不陸緩和材※合成樹脂発泡シート
現場塗装仕上げ・行う(施工箇所)
※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地そのままワックス塗り

19内装工事

⑨畳敷き

[19.6.2][表19.6.1]

種別・A種・B種※C種・D種(畳床：・KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N)
下地の種類・種仕表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロム)

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びブチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
街拵縁和畳畳表(JIS A 5902)・C1・C2
防虫処理は加熱による方法及び防虫加工紙(布)による方法とし、人体に無害なものとする。
畳表は、熊本県畳表検査規定による「綿糸引通五ハ2等級」規定品同等以上とする。

⑩せっこうボードその他のボード張り

[19.7.2, 3][表19.7.1]

種 類	JIS記号	厚 さ (mm)、規格等
・硬質木毛セメント板	HM	・15・20 ※25・
・普通木毛セメント板	NW	・15・20 ※25・
・軽い硬カルシウム板	0.8FK 1.0FK	・突付けタイプ2(無石綿) ※6・8
・ロックウール化粧吸音板	DR	※突付け ・フラットタイプ(・9(不燃)※12(不燃)・) ・凹凸タイプ(・12(不燃)・15(不燃)・19(不燃)・) ※300×600・455×910
・グラスウール吸音ボード32X	GW-B	※25(厚手グラスクロス包) ・ ※留め付け材樹脂製プラグ@300程度
・せっこうボード	GB-R	※突付け(ペベルエッジ) ※12.5(不燃)・15(不燃) ※910×2730・910×1820
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	※突付け ※9.5(不燃)・化粧無(下地張り用) ・化粧有(トラバーチン模様) ※450×910・910×910
・シーリングせっこうボード	GB-S	・12.5(不燃)
・強化せっこうボード	GB-F	・12.5(不燃)・15(不燃)
・化粧せっこうボード(木目)	GB-D (W)	※目達し ・12.5(不燃)幅440mm程度※9.5 模様(※柱目・板目)専用下地材有り
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による(※1.2・)

せっこうボード等の下地は図示による
石膏ボードの目地工法等
目地工法の種類・仕上表による
突付工法及び目達かし工法のエッジの種類
・ペベルエッジ
・スクエアエッジ
遮音シール材※アクリル系またはウレタン系シーリング材・ジョイントパウンド(JIS A 6914)
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量※規制対象外
合板類の張付け※B種・A種

⑪壁紙張り

[19.8.2, 3]

ホルムアルデヒド放散量※規制対象外・

施工箇所	壁紙の種類					防火性能	商品名(程度)
	紙	織	プラスチック	無機質	その他		
・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	
・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	
・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	
・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃	

モルタル・プラスター面の素地ごしらえ※B種・A種
コンクリート・ALC面の素地ごしらえ※B種・A種
せっこうボード面の素地ごしらえ※B種・A種

内 装

月・日

・

・

・

設計年月

令和

・

令和

・

工事名称

(仮称)別府分団拠点施設新築工事

図面名称

建築工事特記仕様書(その7)

図面番号

A-07

縮尺

NO. SCALE

株式会社 田代設計工房

〒892-0818 鹿児島市上本町3番9号

1級建築士 大庭登雄 145118号 田代 昌弘

TEL 099-248-7338 FAX 099-248-7152

[illegible]

22舗装工事
続
き

②路盤

路盤の構成及び厚さ
路盤材料の種類
・砕石
※再生材
・クラッシュラン鉄鋼スラグ
・粒度調整鉄鋼スラグ
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ

③アスファルト舗装

アスファルト舗装の構成及び厚さ
材料及び種類
アスファルト
骨材
加熱アスファルト混合物等の種類
※密粒度アスファルト混合物
※細粒度アスファルト混合物
シールコートの施工
試験
アスファルト混合物等の抽出試験
舗装の平たん性

4コンクリート舗装

コンクリート舗装の構成及び厚さ
舗装の種類
コンクリート舗装
歩行者用通路
材料
コンクリート
設計基準強度
所定のスランプ
粗骨材の最大寸法
※普通コンクリート
早強ポルトランドセメント
注入目地材料
目地
種類
間隔
構造
※標準仕
溶接金網
試験
アスファルト混合物等の抽出試験
舗装の平たん性

⑤透水性

透水性アスファルト舗装の構成及び厚さ
材料
骨材
試験
間粒度アスファルト混合物等の抽出試験
砂の粒度試験
舗装の平坦性

6ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装
種 類
※普通平板
・透水平板
・保水性平板
クッション材
普通平板は
ただし、調達困難な場合は
仕上り面の平たん性
・インターロッキングブロック舗装
種 類
※普通ブロック
・透水性ブロック
・保水性ブロック
※普通ブロック
・透水性ブロック
・保水性ブロック
クッション材
歩行者用通路に使用するブロックは
ただし、調達困難な場合は
仕上り面の平たん性
段差は3mm以内とする

7砂利敷き

種別
・A種
・B種

8路面標示用塗料

JIS K 5665
種 類
・1種
・2種
※3種1号
⑨車止め

23植栽及び屋上緑化工事

1植栽地の確認等

2植栽基盤の整備

3植込み用土

4土壌改良材

5樹木

6支柱

7幹巻き用材料

8芝

9吹付けほ

10地被類

土壌の水素イオン濃度指数
電気伝導度
樹木の植栽基盤の整備
植栽
・樹木
※芝、地被類
但し、現状地盤より高さが上がる場合はD種とする。
植栽基盤の排水設備
※現場発生土の良質土
土壌改良材の適用
種別及び指定量等
使用量
有機物の含有率
炭素窒素比
陽イオン交換容量
pH
水分
幼植物試験の結果
窒素全量
りん酸全量
加里全量
施工箇所の土壌及び植栽する植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。
汚泥発酵肥料
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、食害試験の結果、害が認められないものとする。
使用量
有機物の含有率
炭素窒素比
pH
水分
窒素全量
りん酸全量
アルカリ分
施工箇所の土壌及び植栽する植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。

土壌の水素イオン濃度指数
電気伝導度
樹木の植栽基盤の整備
植栽
・樹木
※芝、地被類
但し、現状地盤より高さが上がる場合はD種とする。
植栽基盤の排水設備
※現場発生土の良質土
土壌改良材の適用
種別及び指定量等
使用量
有機物の含有率
炭素窒素比
陽イオン交換容量
pH
水分
幼植物試験の結果
窒素全量
りん酸全量
加里全量
施工箇所の土壌及び植栽する植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。
汚泥発酵肥料
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、食害試験の結果、害が認められないものとする。
使用量
有機物の含有率
炭素窒素比
pH
水分
窒素全量
りん酸全量
アルカリ分
施工箇所の土壌及び植栽する植物の性質から使用が不適な場合、及び調達困難な場合は監督職員と協議を行うものとする。

樹種、寸法、株立数等
支柱材
防腐処理方法
形式
材料
種類
芝張りの工法
平地
法面
種子の種類
※洋芝類
・
植物の種類
・
・

樹種、寸法、株立数等
支柱材
防腐処理方法
形式
材料
種類
芝張りの工法
平地
法面
種子の種類
※洋芝類
・
植物の種類
・
・

23植栽及び屋上緑化工事
続
き

11樹木札

12樹木の枯補償

その他特記事項

支柱材
幹巻き用材料
樹木札
（上・中木用）
（例）
（下木寄植・生垣用）
※引渡しの日から1年
[23.3.2]
[23.3.2]
[23.3.4]
[23.3.6]

支柱材
幹巻き用材料
樹木札
（上・中木用）
（例）
（下木寄植・生垣用）
※引渡しの日から1年
[23.3.2]
[23.3.2]
[23.3.4]
[23.3.6]

支柱材
幹巻き用材料
樹木札
（上・中木用）
（例）
（下木寄植・生垣用）
※引渡しの日から1年
[23.3.2]
[23.3.2]
[23.3.4]
[23.3.6]

支柱材
幹巻き用材料
樹木札
（上・中木用）
（例）
（下木寄植・生垣用）
※引渡しの日から1年
[23.3.2]
[23.3.2]
[23.3.4]
[23.3.6]

図面番号
A-09

図面名称
建築工事特記仕様書（その9）

縮尺 NO. SCALE

設計年月
令和
承諾
部長

工事名称
（仮称）別府分団拠点施設新築工事

図面名称
建築工事特記仕様書（その9）

株式会社 田代設計工房
〒892-0818
鹿児島市上本町3番9号

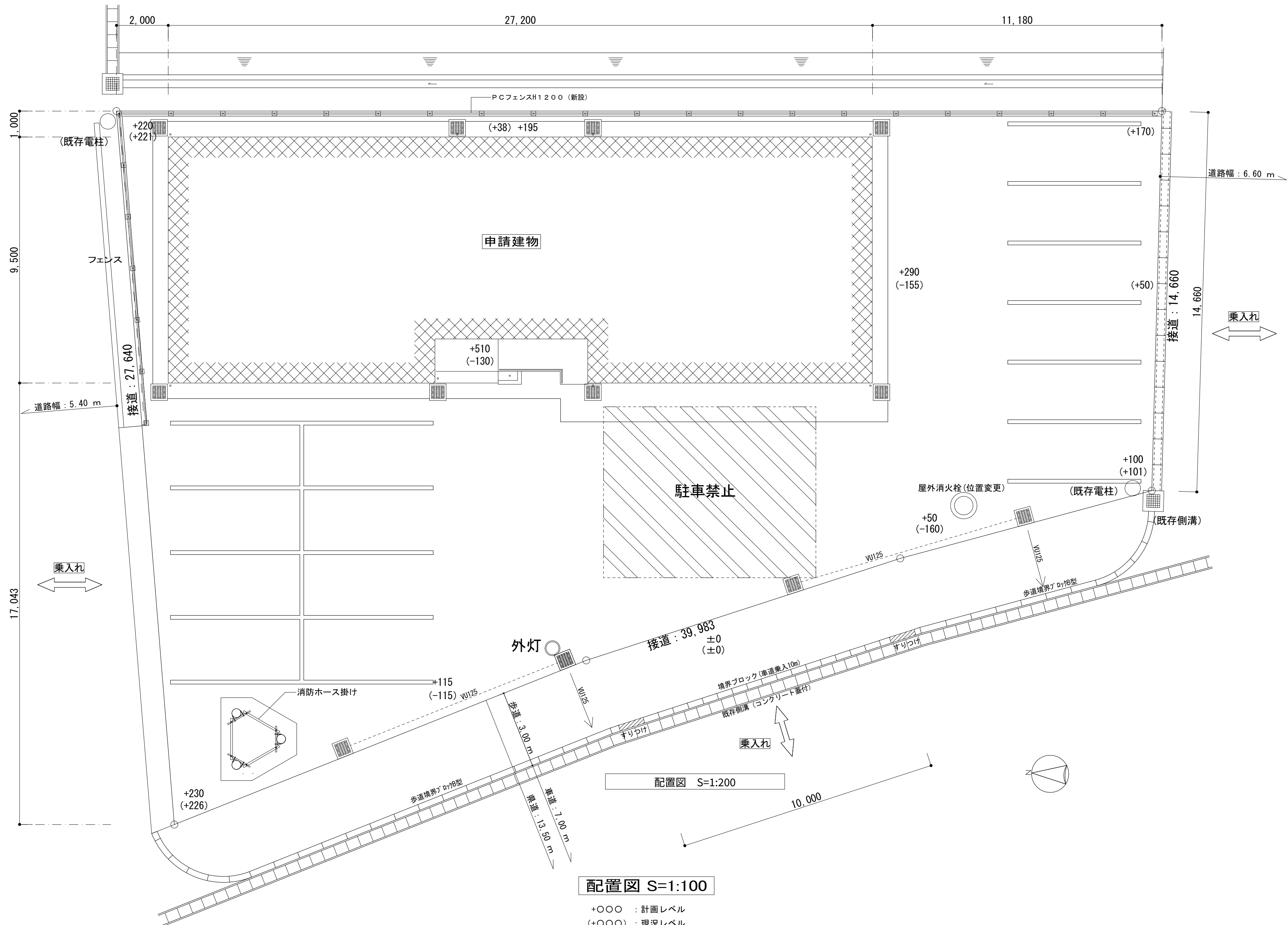
1級建築士 大臣登録 145118号 田代 昌弘
TEL 099-248-7338 FAX 099-248-7152

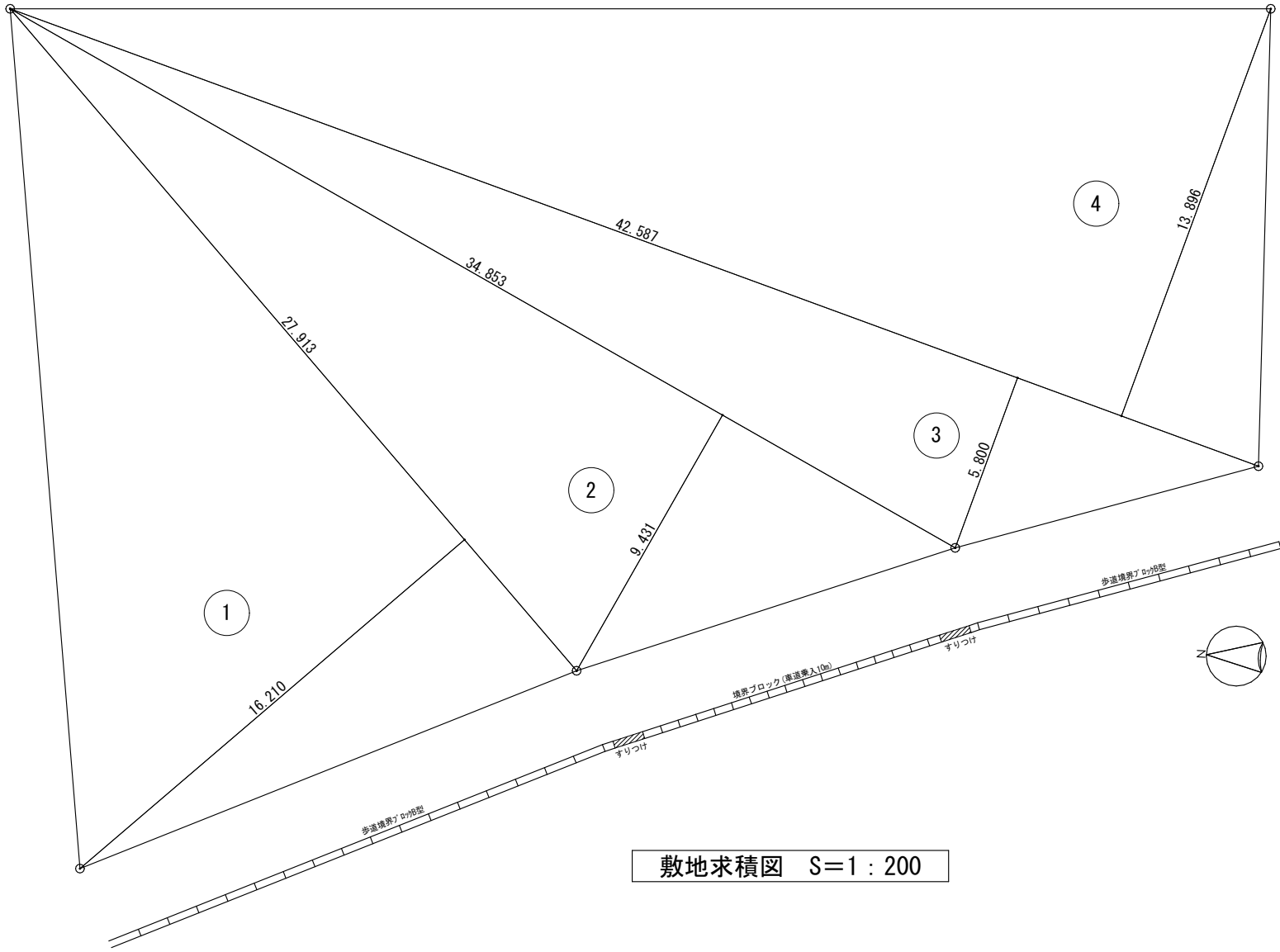
工 事 概 要	1 工 事 名 称：（仮称）別府分団拠点施設新築工事	7 工 事 範 囲：	8 別 途 工 事：	9 建 物 規 模：	鉄骨造 平屋建
	2 工 事 場 所：南九州市瀬娃別府8588-1, 8588-2	A 建築主体工事		敷 地 面 積：	809.98 m ²
	3 施 主：南九州市長 塗木 弘幸	B 電気設備工事		延 床 面 積：	258.40 m ²
	4 用 途 地 域：都市計画区域内 未指定	C 給排水衛生設備工事		建 築 面 積：	248.37 m ²
	5 容 積 率：400%	・ 建 蔽 率：70%（角地緩和）	D 空調設備工事		
	6 構 造：鉄骨造平屋建				

	屋 根 ・ 軒 裏	外 壁	建 具 ・ 換 気 孔	樋 ・ 金 物	ポ ー チ	備 考
外 部 仕 上	屋根:マグネシウム添加型（SGL） t=0.4mm（勾配3.0寸）構造用合板t=12mm下地 ゴムアスルーフィング敷きt=1.0mm 棟包み ガルバリウム塗装鋼板t=0.4mm ケラバ、 軒先水切り共 ガルバリウム鋼板t=0.4mm 軒天:ケイカル板 t=6.0mm目透かし張りE P 塗装 （一部 角型軒天換気孔 防虫網付）	外壁：防火サイディングt=16mm塗装済品 （コーナー役物 塗装品 金具留め） 防水シート貼り下地 （コーナー部分は2重貼り） グラスウールt=100mm（16k）入り	アルミサッシ見込み70 鉄骨用（一部住宅用） ガラス廻り：シリコン1成分型SR-1、 サッシ廻り:変性シリコン系MS-2 強化透明ガラス t=5.0、強化型ガラス t=4.0、 網入りガラス t=6.8、型ガラス t=2.0	軒樋：塩ビ製 半丸樋120カラー 受け金物 ステンレス製@600 竖樋：塩ビ製75φカラー 掴み金物 カラーステンレス製@1,000	鉄筋コンクリート造 Fc=180 縦横筋共 D10@300 コンクリート金鰈押え ・ポーチ：150角タイル、 犬走り：t=100mm D10@300（縦横共） 足ふきマット（900×600×20）新協和SK-GMT型（枠共）	庇：ガルバリウム鋼板t=0.35mm張り 鼻先・側：防火サイディングt=16mm（塗装品）
				断 熱 材	巾木	

内 部 仕 上	室 名	床	巾 木	壁	天 井	天井高	備 考
	玄関	コンクリート下地の上モルタル金ゴテ押えの上 150角タイル張り	H=200タイル張り	不燃ビニールクロス貼(F☆☆☆☆) 下地： プラスターボード (PB) t=12. 5	不燃ビニールクロス貼り 下地： 振れ止め（標準）	2, 400	
	ホール	コンクリート下地の上モルタル金ゴテ押えの上 長尺シート	H=200塩ビ巾木	不燃ビニールクロス貼(F☆☆☆☆) 下地： プラスターボード (PB) t=12. 5	不燃ビニールクロス貼り 下地： 振れ止め（標準）	3, 100	上框： 桧150×90、付け框60×90（上小節） C L 塗装 式台:W=360 下駄箱 天井廻縁： 40×40(杉上小節)
	廊下	コンクリート下地の上モルタル金ゴテ押えの上 長尺シート	H=200塩ビ巾木	不燃ビニールクロス貼(F☆☆☆☆) 下地： プラスターボード (PB) t=12. 5	不燃ビニールクロス貼り 下地： 振れ止め（標準）	2, 400	
	研修室	さくらフローリング t=15mm(塗装品)の上スタイロ畳敷き 一部さくらフローリング張り	畳寄せ H=90	不燃ビニールクロス貼(F☆☆☆☆) 下地： プラスターボード (PB) t=12. 5	不燃ビニールクロス貼り 下地： 振れ止め（標準）	2, 700	窓部分カーテンBOX（木製 EP-G W=200xH=150） アルミ製天井点検口450x450 賞状掛け(アルミ製ビクチャーレール) 室名札
	会議室	コンクリート下地の上モルタル金ゴテ押えの上 長尺シート	H=200塩ビ巾木	不燃ビニールクロス貼(F☆☆☆☆) 下地： プラスターボード (PB) t=12. 5	化粧石膏ボード(GB-D) t9. 5貼 (F☆☆☆☆) 下地： 振れ止め（標準）	2, 400	B L 型ステンレス天板流し台 L=1, 800(トラップ 付)、コンロ台 L=600、吊戸棚 L=1, 800、 レンジフード L=600 水切り棚(ステンレス製2段 L=1, 200) 流し台上部ステンレス水切 アルミ製天井点検口： 450×450 1ヶ所 排水目皿 室名札
	消防車庫	コンクリート金ゴテ押え（目地切）		ケイカル板t10mm目透し貼りEP塗装 間仕切り壁：強化石膏ボード板t=12. 5mm(両面張り)の上 (準耐火認定番号QF045BP-9071) 無石綿ケイカル板t=6. 0mm(目透かし張り)EP-G 異種用途区画 梁 ケイカル板 t =20mm被覆 (耐火構造番号 FP060NE-9393)	ケイカル板 t=6. 0mm目透かし張り E P 塗装 下地： 振れ止め（標準）	3, 700 ～ 3, 800	伸縮目地： アスファルト10×40
	床の間	鋼製東立て床組の上さくらフロ-リング* t15mm塗装品		不燃ビニールクロス貼(F☆☆☆☆) 下地： プラスターボード (PB) t=12. 5	不燃ビニールクロス貼り 下地： 振れ止め（標準）	2, 400	床柱： 杉120×120（上小節） 落し掛け： 105×45（杉 上小節） 床框： 桧90×150（上小節） CL 作り付け棚
	押し入れ	鋼製東立て床組の上加工杉板t12mm		化粧石膏ボード t=12. 5mm張り	化粧石膏ボード (GB-D) t9. 5貼 (F☆☆☆☆) 下地： 振れ止め（標準）	2, 400	中棚、枕棚付
	更衣室	コンクリート下地の上モルタル金ゴテ押えの上 長尺シート張り	H=200塩ビ巾木	不燃ビニールクロス貼(F☆☆☆☆) 下地： プラスターボード (PB) t=12. 5	化粧石膏ボード(GB-D) t9. 5貼 (F☆☆☆☆) 下地： 振れ止め（標準）	2, 400	室名札
	収納	加工杉板t=12mm 鋼製東立て床組		化粧石膏ボード t=12. 5mm張り	化粧石膏ボード(GB-D) t9. 5貼 (F☆☆☆☆) 下地： 振れ止め（標準）	2, 400	
	男子トイレ	コンクリート下地の上モルタル金ゴテ押えの上 タイル張り	H=200タイル張り	ケイカル板t=10mm目透かし張り E P 塗装	化粧石膏ボード(GB-D) t9. 5貼 (F☆☆☆☆) 下地： 振れ止め（標準）	2, 400	洋式便器（ウォッシュレット）、ペーパーホルダー（ワンタッチ式）、小便器、洗面器、 換気扇、排水目皿 （設備工事） 室名札
	女子・多目的トイレ	コンクリート下地の上モルタル金ゴテ押えの上 タイル張り	H=200タイル張り	ケイカル板t=10mm目透かし張り E P 塗装 異種用途壁： PB12. 5mm+ケイカル板6. 0mm（目透しEP塗装）	化粧石膏ボード(GB-D) t9. 5貼 (F☆☆☆☆) 下地： 振れ止め（標準）	2, 400	洋式便器、ペーパーホルダー（ワンタッチ式）、多目的用洗面器、換気扇 （設備工事） 樹脂製 L 型手摺 3 6 Φ L=6 0 0 × 7 0 0 室名札

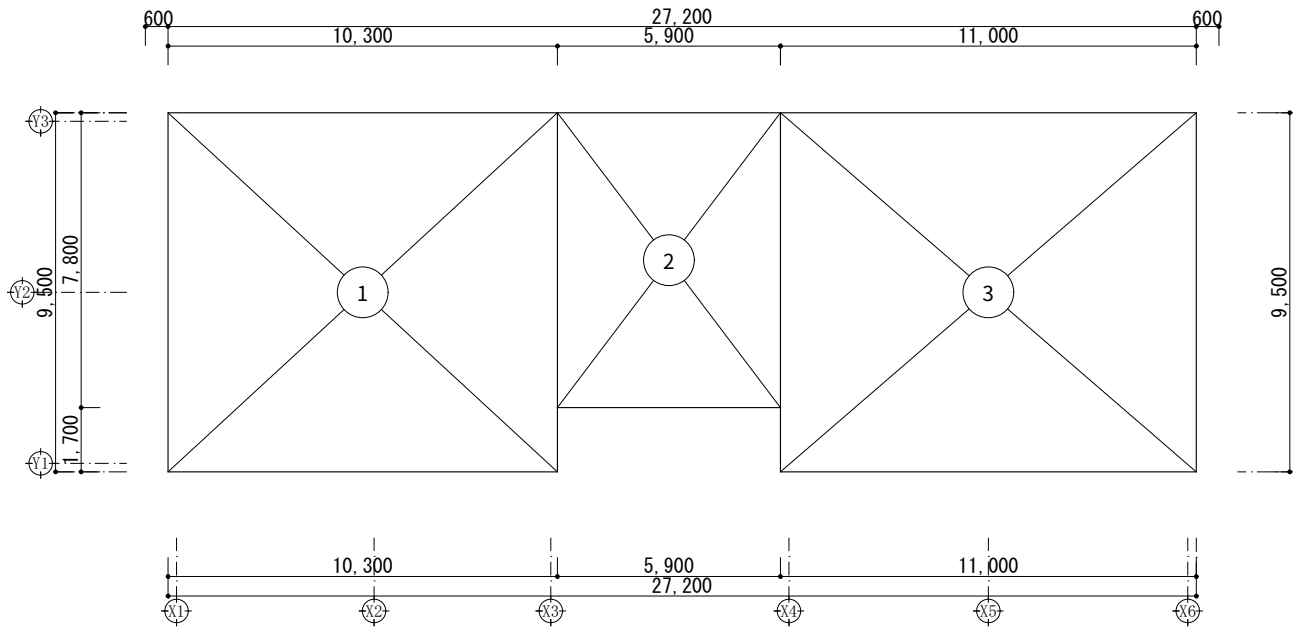
■特記事項		
・電機設備 は建築基準法第32条 を遵守する。 ・給水・排水 その他配管設備 は建築基準法第36条・令129条 の2の5に 基づき施工する。 ・建築材料 の品質は建築基準法第37条 を遵守する。 ・水道法第16条 を遵守する。 ・液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の2に基づき施工する		・下水道法第10条第1項 を遵守する。 ・仕上材料はF☆☆☆☆とする。室内、小屋裏共通。 ・防災ビニルクロス プラスチック 製壁紙塩化ビニル・準不燃下地・準不燃（QM） ・エアコン・タオル 掛け・ペーパーホルダー・カーテンレール 取付部分 は合板等にて適宜補強すること。





敷地求積図 S=1 : 200

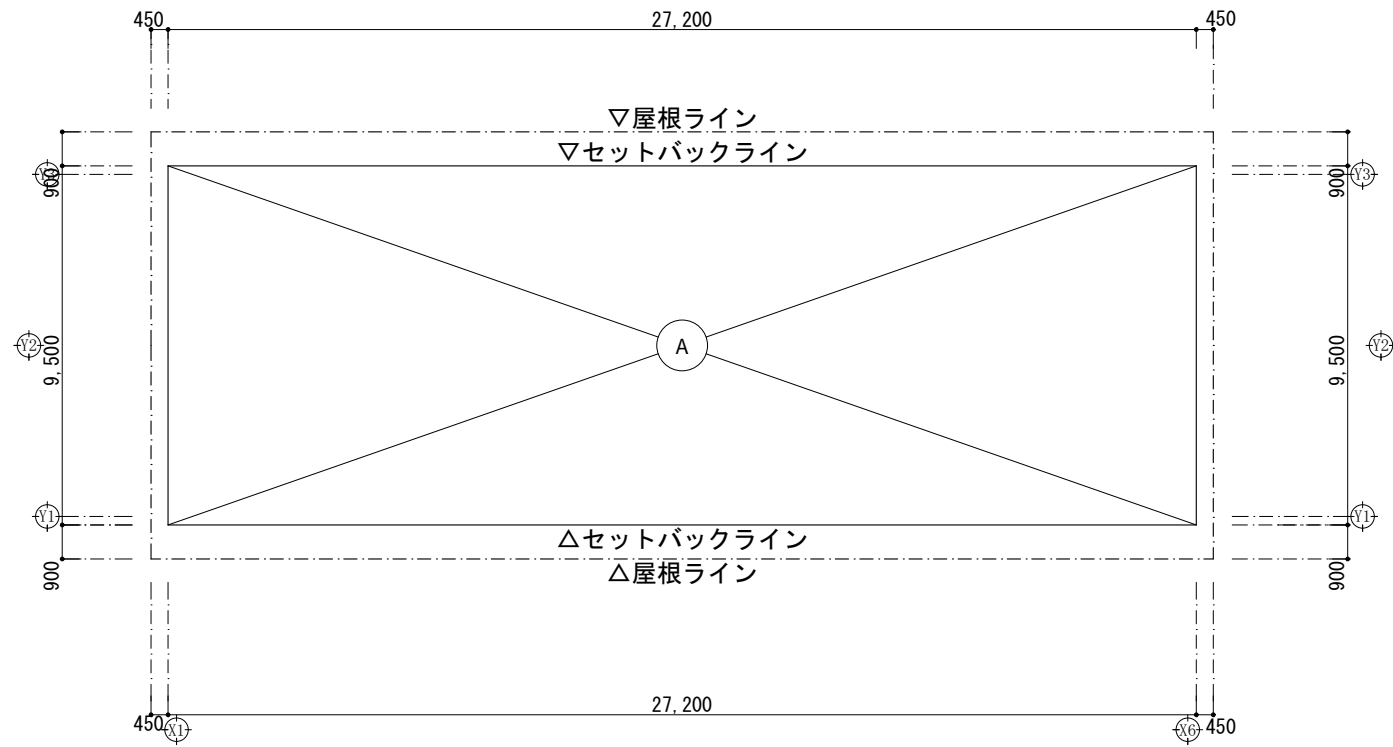
No.	底 辺	高 さ	倍 面 積
①	27.913	16.210	452.46973
②	34.853	9.431	328.698643
③	42.587	5.800	247.0046
④	42.587	13.896	591.788952
		倍面積	1619.961925
		1 / 2	809.9809625



建築面積求積図 S=1 : 200

【建築面積表】

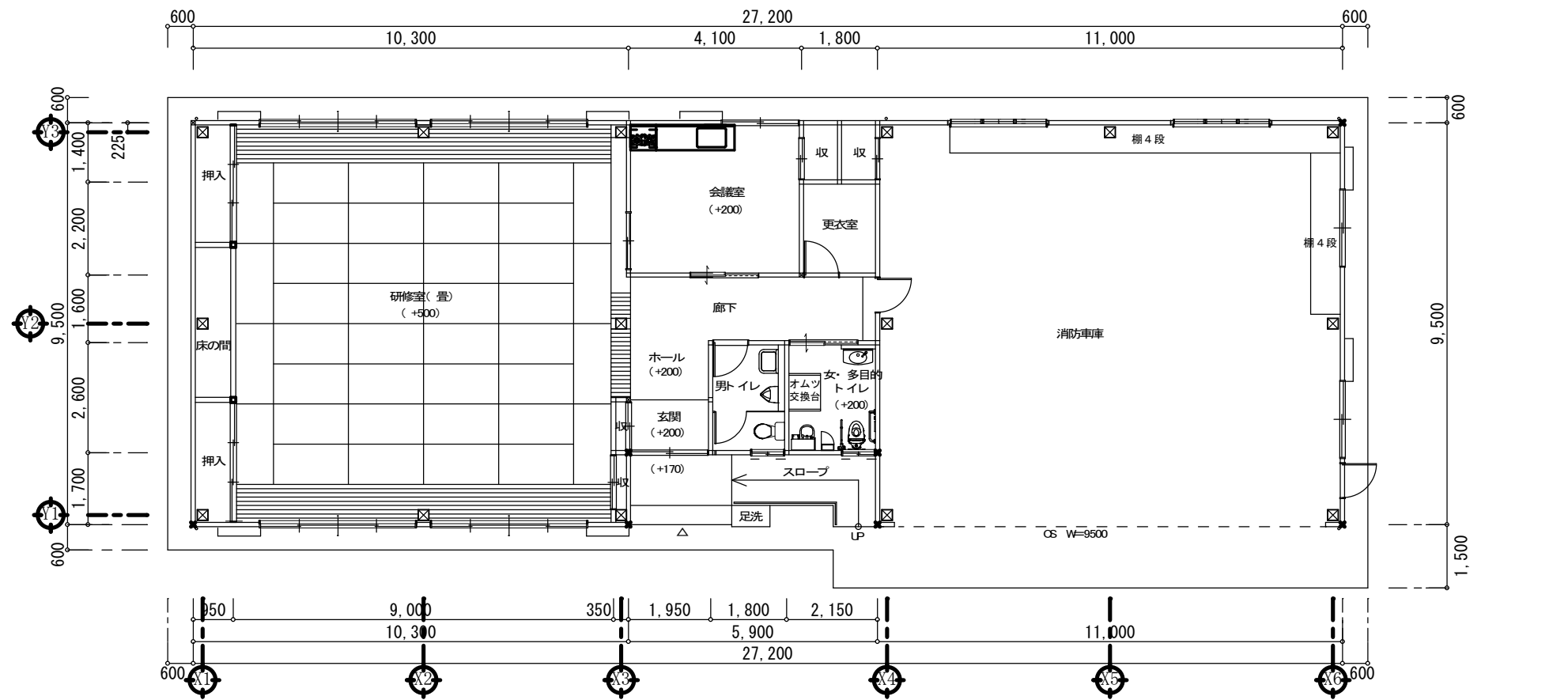
No.		面 積
①	10.300 × 9.500	97.85
②	5.900 × 7.800	46.02
③	11.000 × 9.500	104.5
		248.37



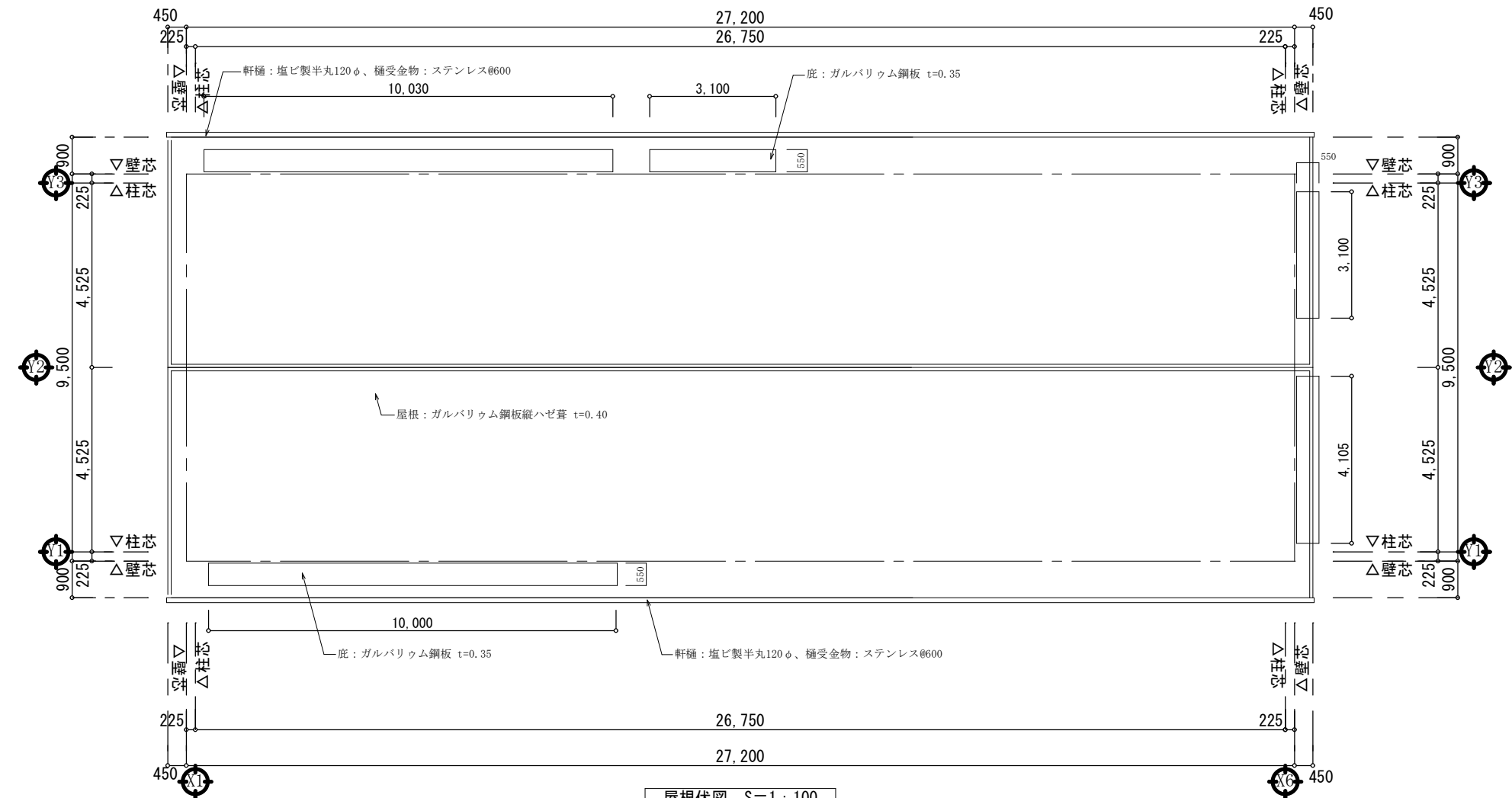
延床面積求積図 S=1 : 200

【延床面積表】

No.		面 積
Ⓐ	27.20 × 9.500	258.4



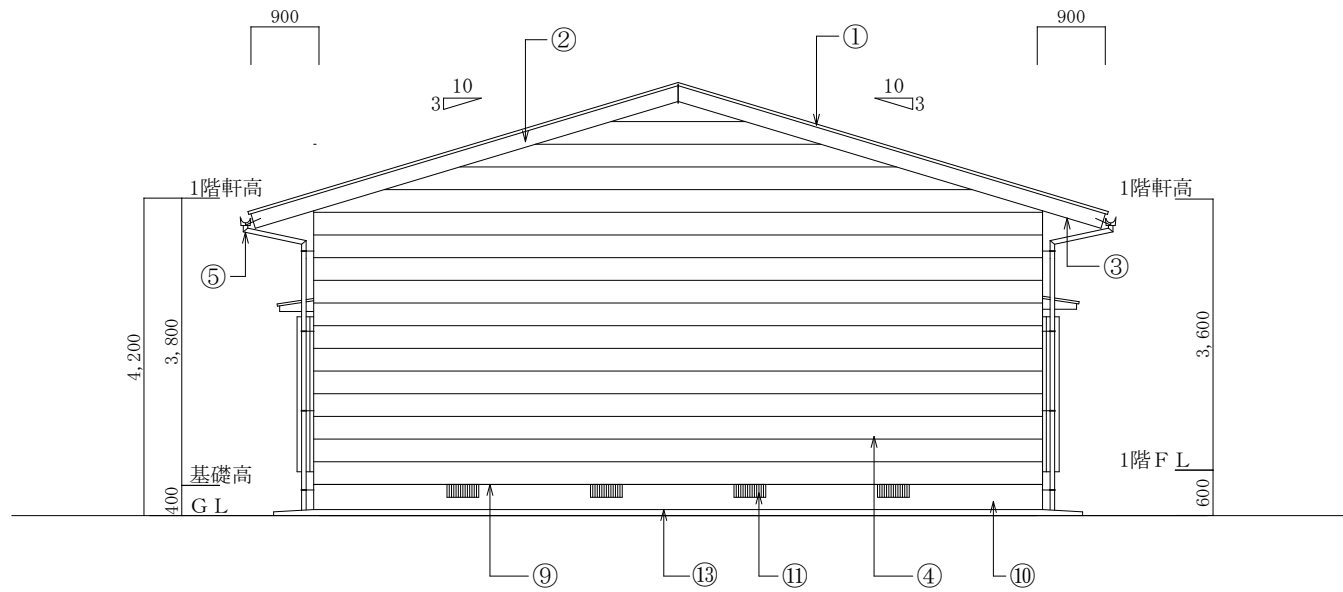
1階平面図 S=1 : 100



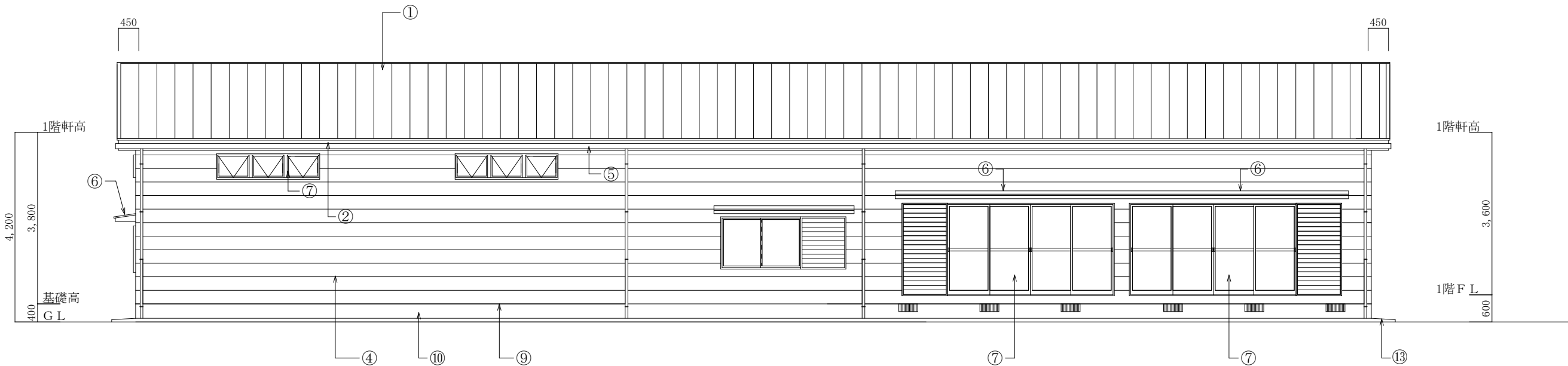
屋根伏図 S=1 : 100



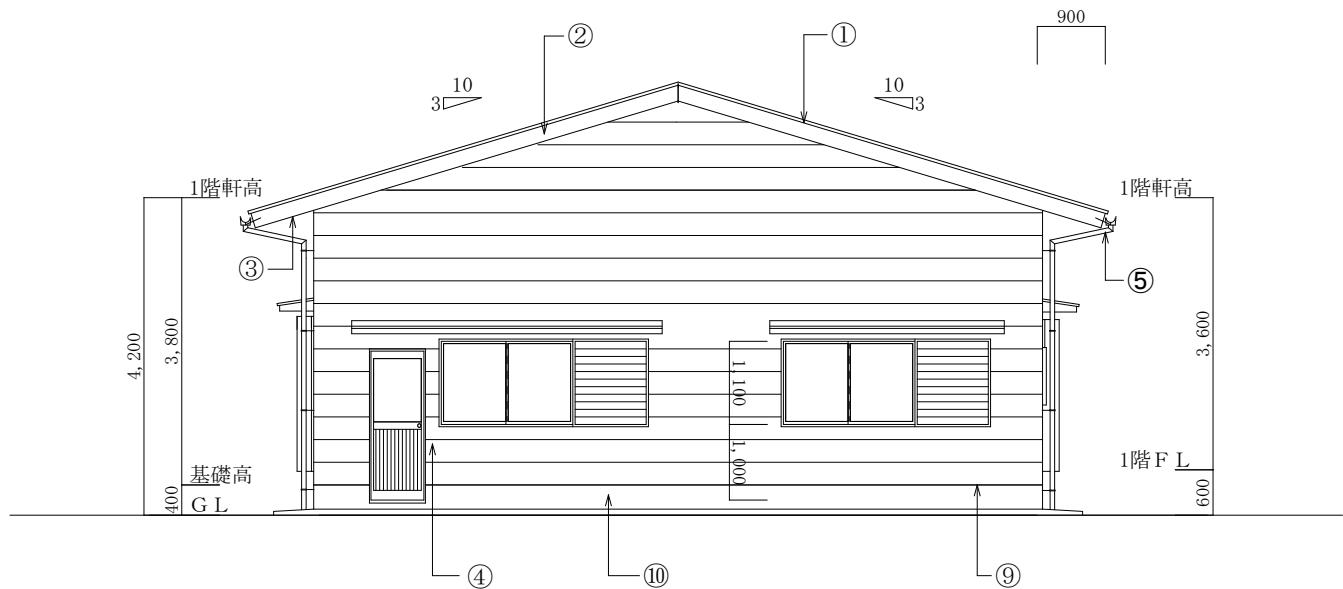
西面立面図 S=1/100



北面立面図 S=1/100

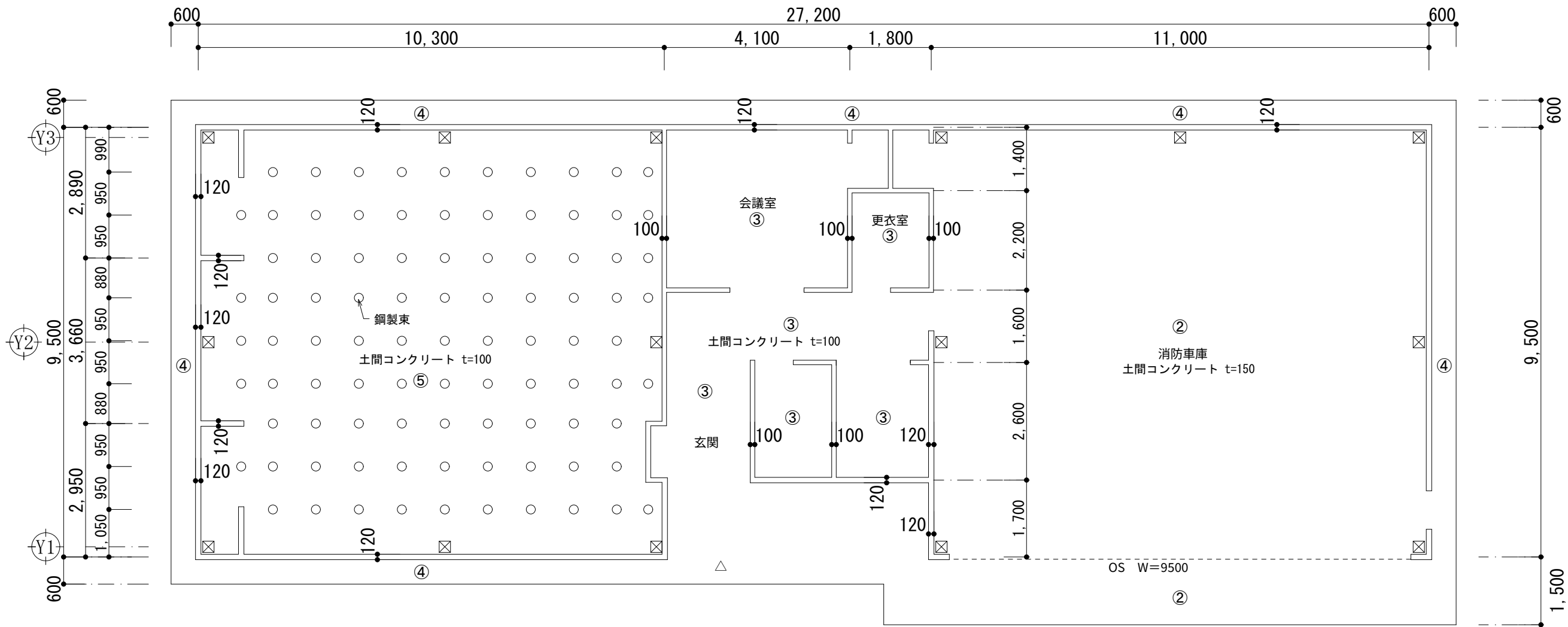


東面立面図 S=1/100



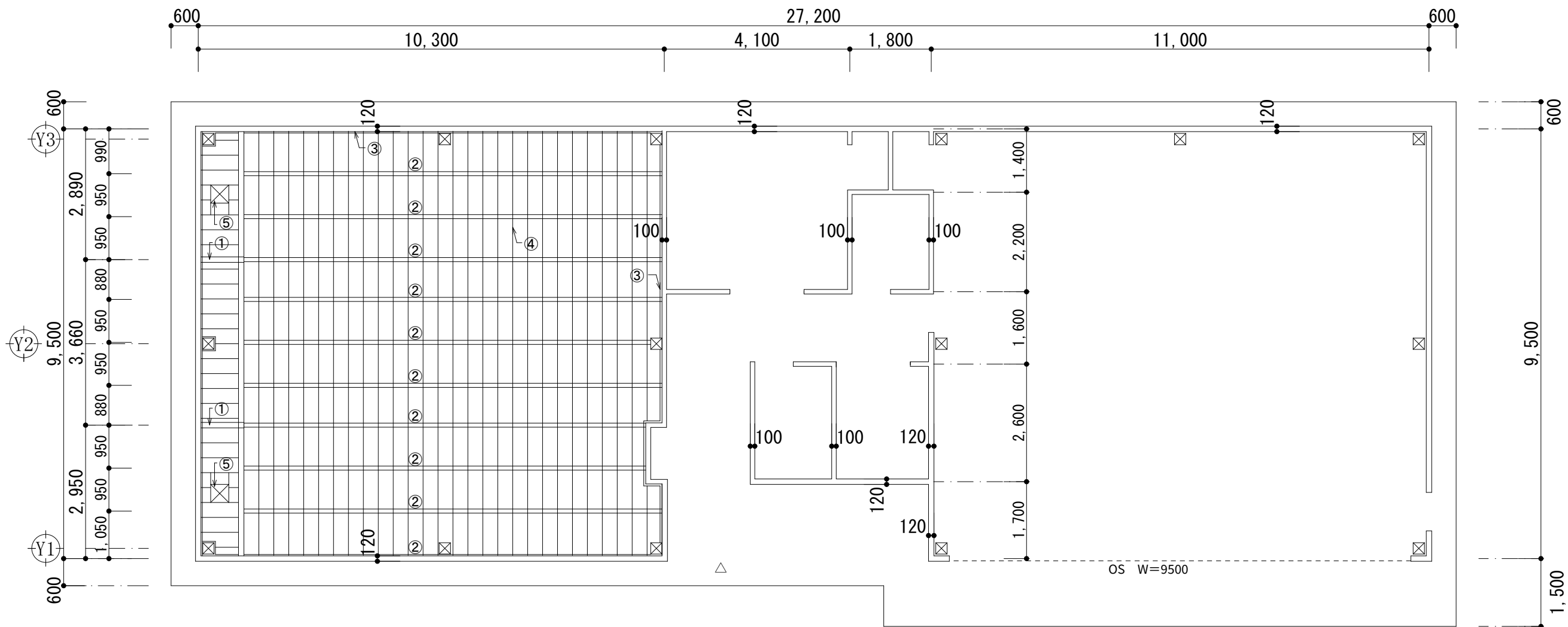
南面立面図 S=1/100

外 部 仕 上 表		
①	屋 根	ガルハ―銅板縦ハゼ葺き t=0.4 (勾配3.0寸) 野地板：構造用合板 t=12mm・ゴムアスルーフィング張り t=1.0 重ね代：上下流れ方向100mm以上、左右200mm以上、棟部分それぞれ250mm以上
②	鼻 隠 し 板	防火サイディング (無地柄) t=16mm張り (目地コーキング処理) EP-G塗装
③	軒 天	無石棉珪酸カルシウム板 t=6mm目スカシ張り EP塗装、軒裏換気孔：480×240
④	外 壁	防火サイディング t=16mm張り、金具留め工法 (目地コーキング処理) 防風、防湿シート (重ね代：上下100mm、左右150mm以上)
⑤	軒 樋	軒樋：塩ビ製半丸樋120Φカラー、樋受け金物：ステンレス製 @600 壁樋：塩ビ製75Φカラー、 掴み金物：カラスステンレス @1,000以内
⑥	庇	ガルバリウム鋼板平板葺き t=0.35mm・庇裏：軒裏仕上げに同じ
⑦	外 部 建 具	住宅用アルミカラーサッシ・戸袋・鏡板・面格子・網戸・標準金具一式 サッシ廻りシーリング (C種 10×10) 雨戸：断熱雨戸
⑧	外 部 建 具	手動オーバーバースライダー (スチール製) 紐式巻き上げ式
⑨	土 台 水 切	ガルバリウム鋼板 t=0.35mm カラー
⑩	外 部 巾 木	コンクリートの上モルタル金鍍仕上 H=350
⑪	床下換気孔	鋳鉄製 170×420 (防虫網付)
⑫	玄関ポーチ	150角磁気質タイル貼り 足ふきマット：ステンレス製 (900×600×20) 枠共
⑬	犬 走 り	コンクリート金鍍押え t=100 伸縮目地



①	床下換気孔 420×170 (鋳鉄製) 防虫網付
②	土間コンクリート t=150mm 配筋は縦横D10@200mm
③	土間コンクリート t=100mm 配筋は縦横D10@250mm
④	犬走りコンクリート t=100mm 配筋は縦横D10@300mm
⑤	床束は鋼製束 (L型タイプ) ウレタン樹脂系接着剤 コンクリート釘4本留め

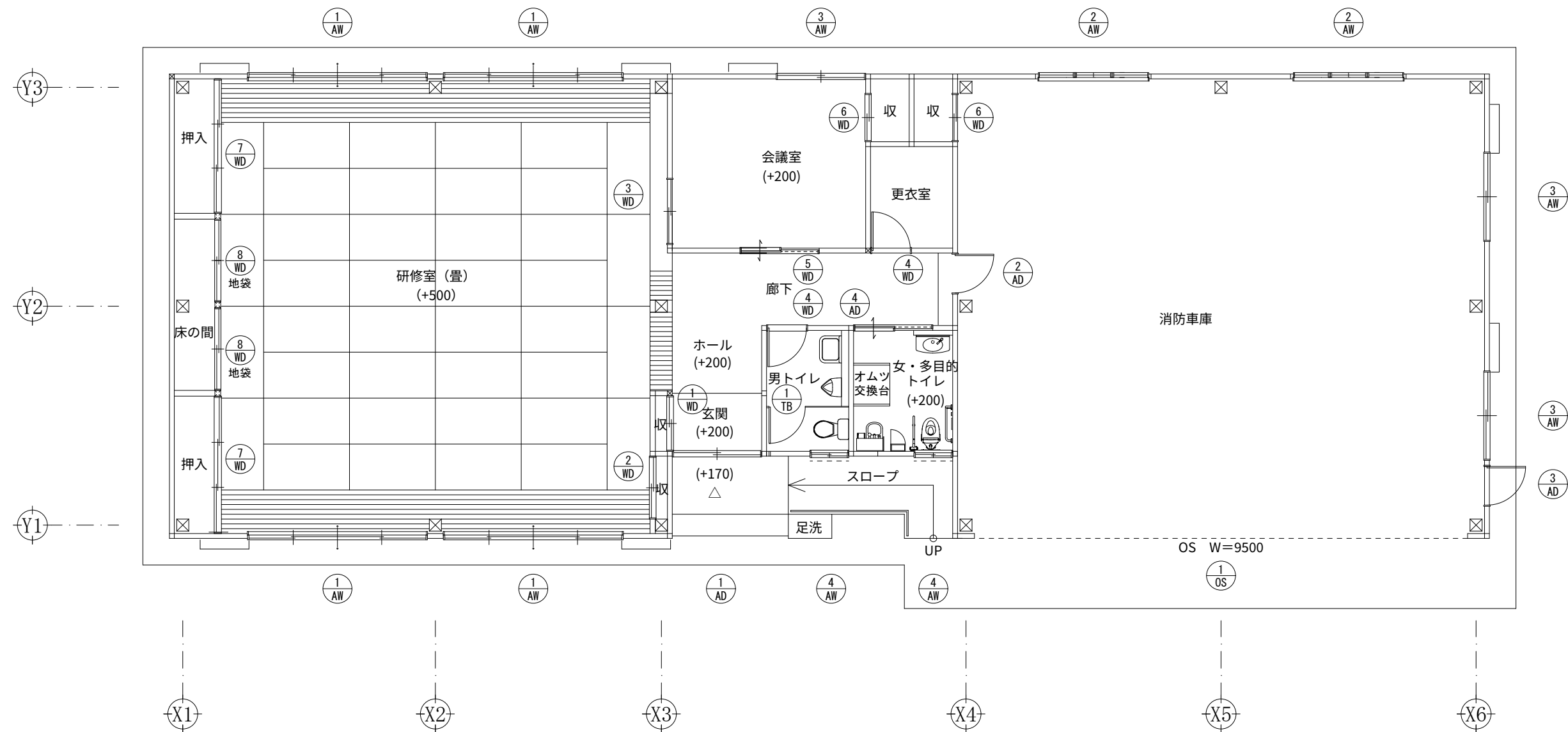
布基礎伏図 S=1 : 100



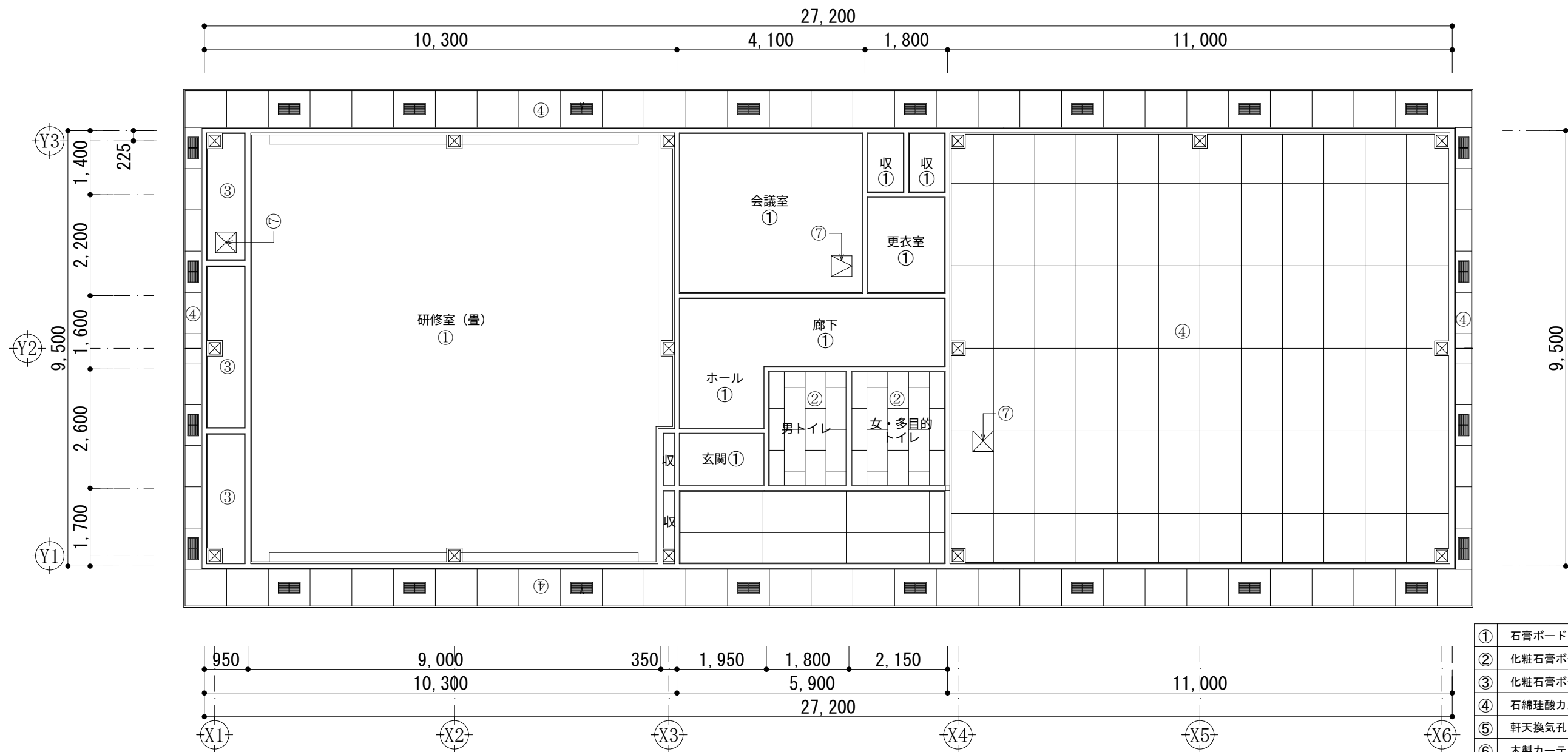
①	土台 : 105×105 (杉材) 防腐防蟻注入材
②	大引 : 90×90 (杉材) 防腐防蟻注入材
③	大引、根太受 : 45×90 (杉材) 防腐防蟻注入材
④	根太 : 45×60 @330 (杉材) 防腐防蟻注入材
⑤	床下点検口 : 400×400 2ヶ所 (加工杉板取り外し式)
⑥	玄関上框 : 90×150 (桧上小節)
	敷居 : 60×105 (桧上小節)
	化粧柱 : 105×105 (杉上小節)
	鴨居 : 45×105 (杉上小節)
	天井廻り縁 : 45×45 (杉上小節)
	その他の造作材 : 杉一等材

構造金物はZマーク表示品とする。
木材の防腐、防蟻処理及び土壌処理白蟻業者
5年保障とする。防蟻処理は GL+1,000以上
また木材の防腐、防蟻処理及び土壌処理に使用する薬剤は
(社)日本しろあり協会認定品又は同等品とする。

床伏図 S=1 : 100

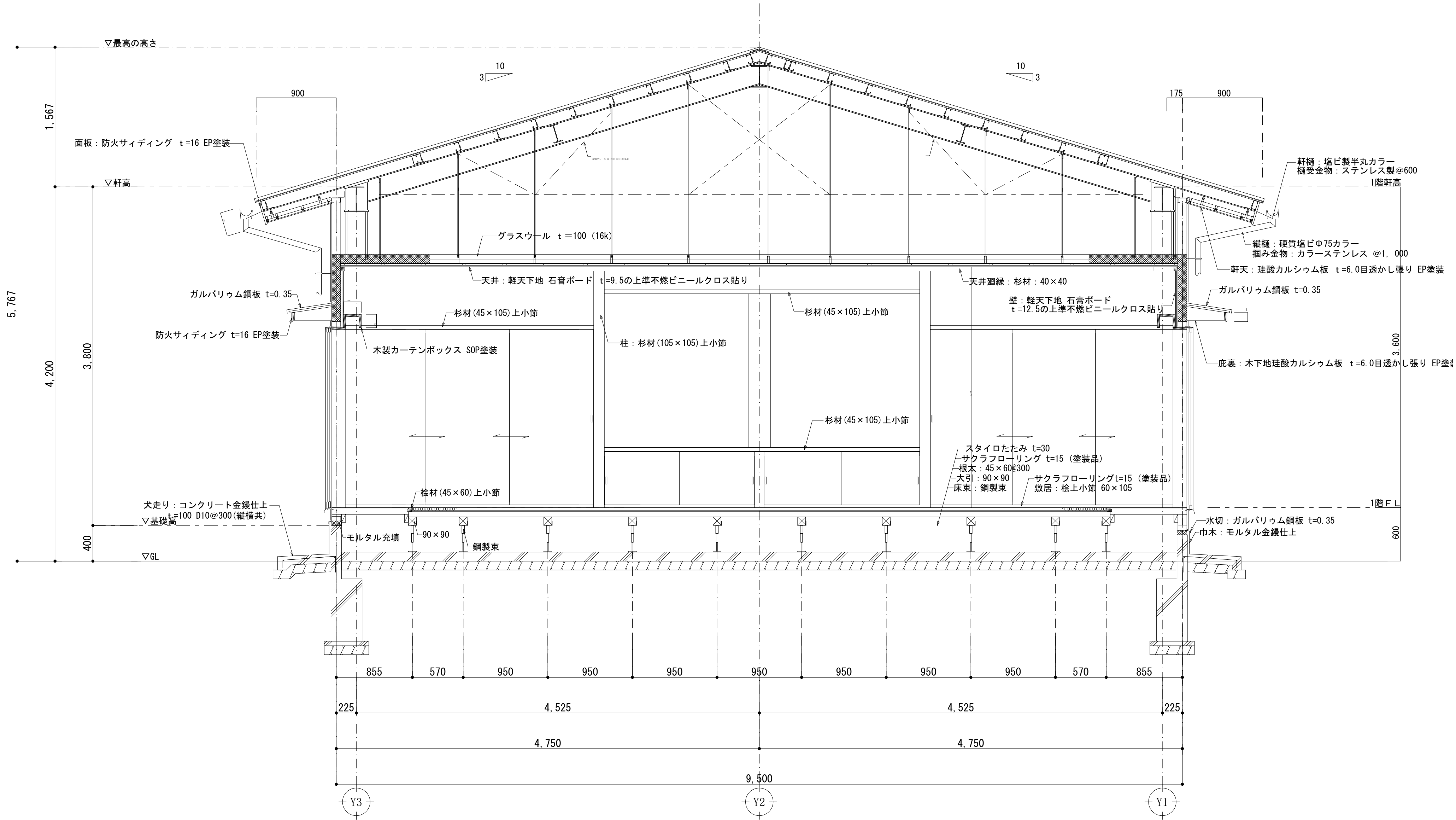


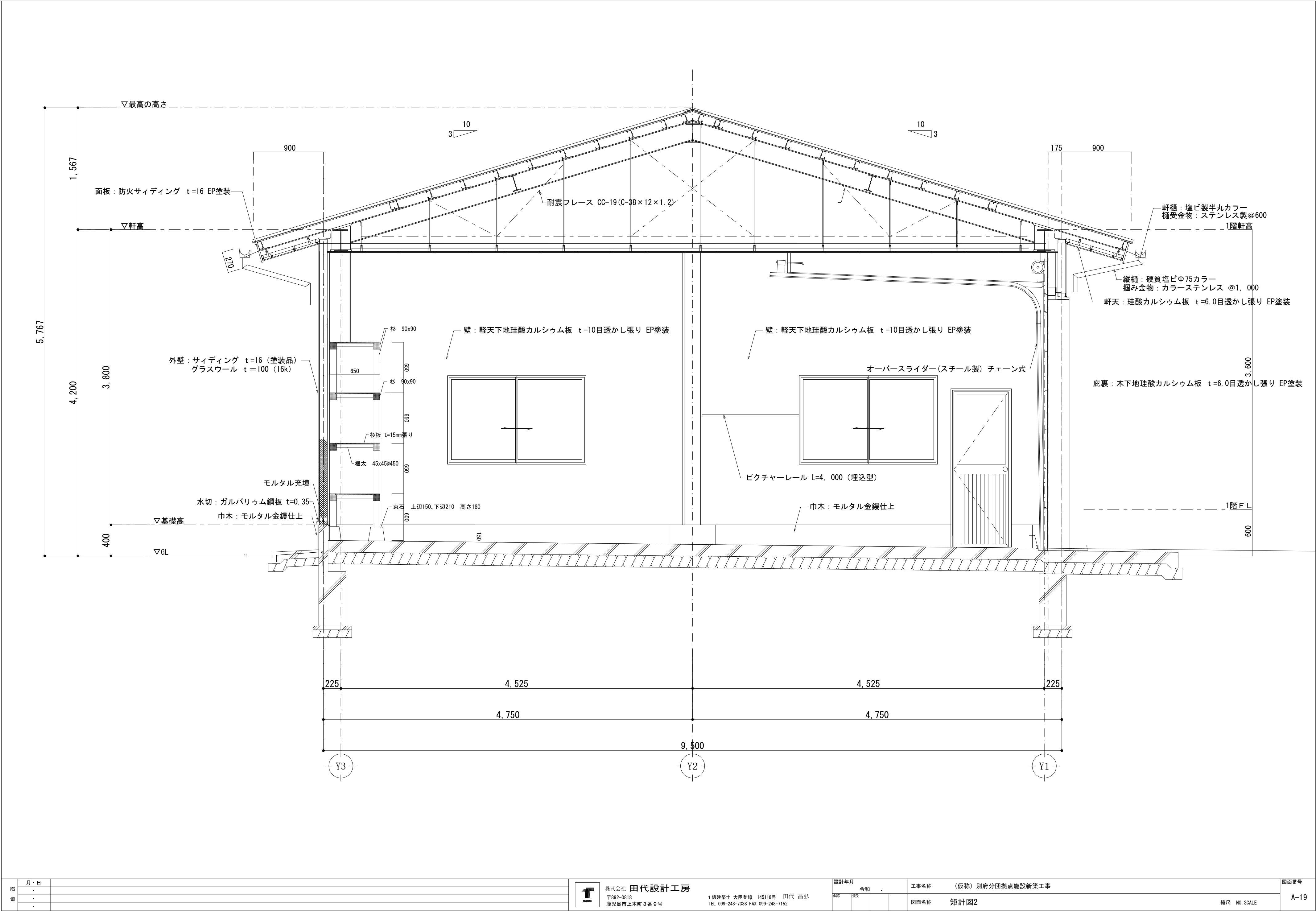
1階平面図 S=1 : 100

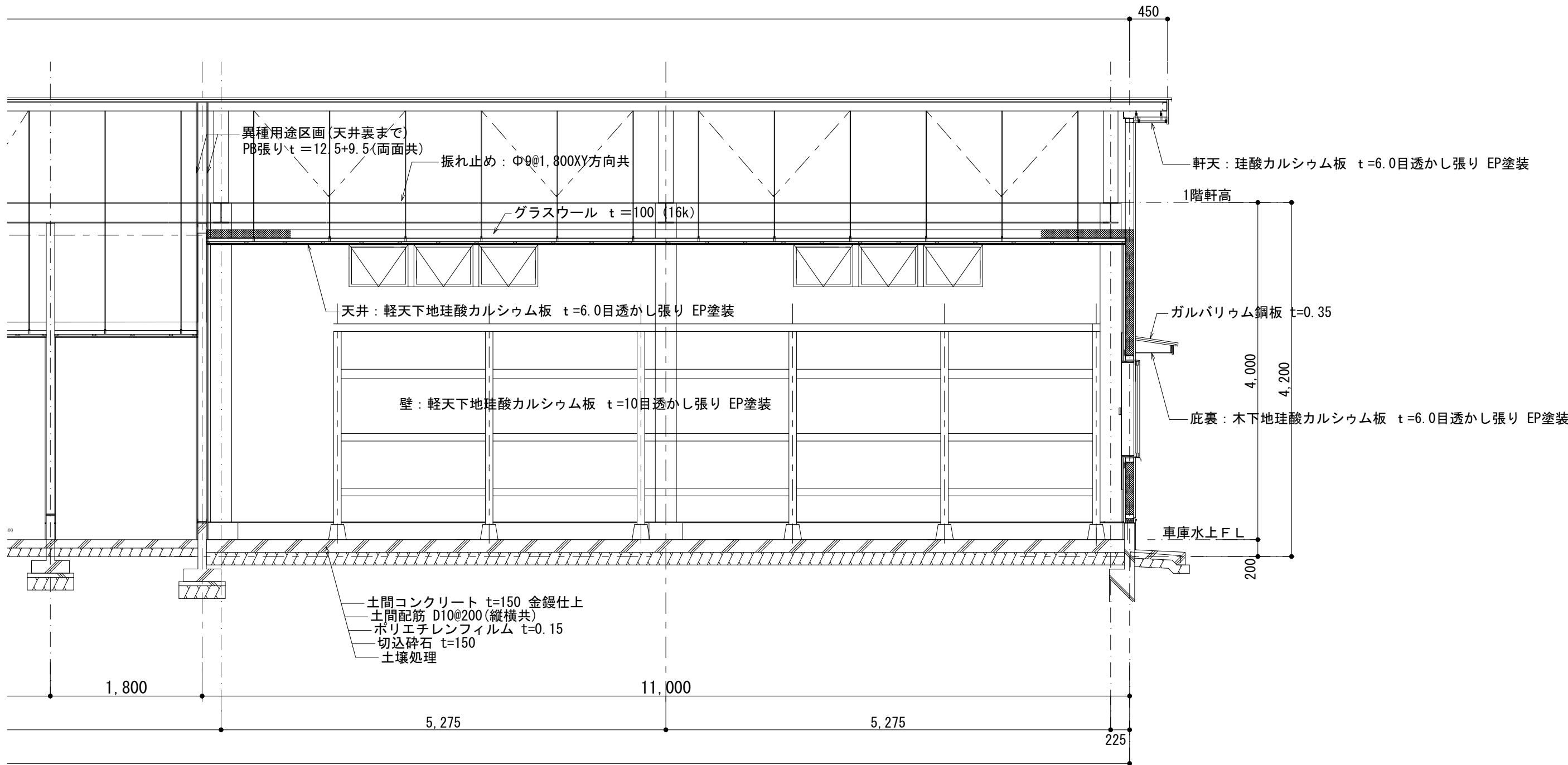
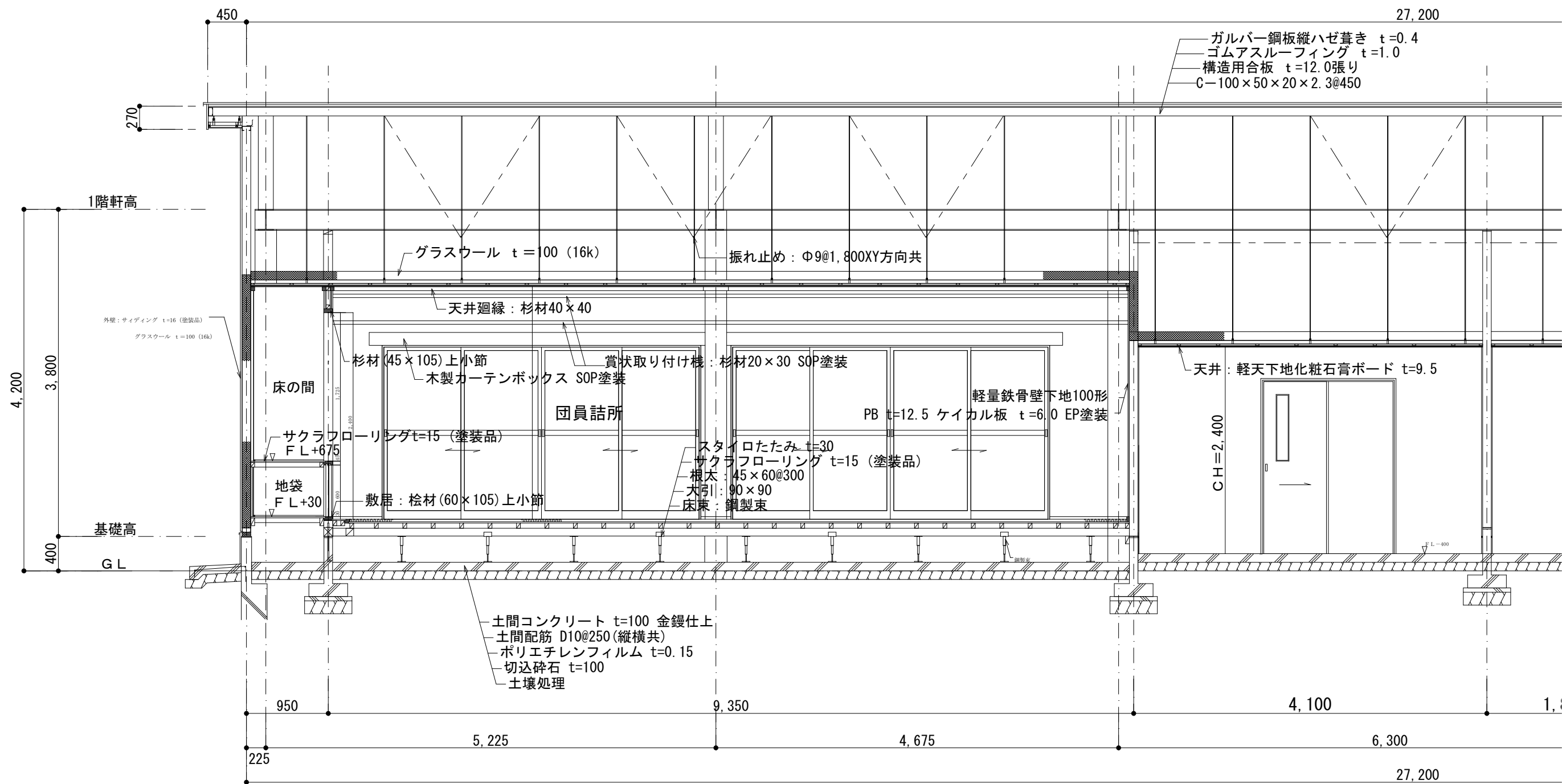


天井伏図 S=1 : 100

①	石膏ボード t=9.5mm下地不燃ビニールクロス貼り
②	化粧石膏ボード t=9.5mm貼り (900×450)
③	化粧石膏ボード t=9.5mm貼り (押入ボード)
④	石綿珪酸カルシウム板 t=6mm 目スカシ張り EP塗装
⑤	軒天換気孔 240×480 (防虫網付) NH1DXフクビ同等品
⑥	木製カーテンボックス OSP塗装 200×150×21
⑦	アルミ製天井点検口 450×450









会議室																
	【A面】				【B面】				【C面】				【D面】			
更衣室																
	【A面】				【B面】				【C面】				【D面】			
男子トイレ																
	【A面】				【B面】				【C面】				【D面】			
女子・多目的トイレ																
	【A面】				【B面】				【C面】				【D面】			

月・日

・

・

・

株式会社 田代設計工房

〒892-0818

鹿児島市上本町3番9号

1級建築士 大臣登録 145118号 田代 昌弘

TEL 099-248-7338 FAX 099-248-7152

設計年月

令和

・

・

工事名称

(仮称) 別府分団拠点施設新築工事

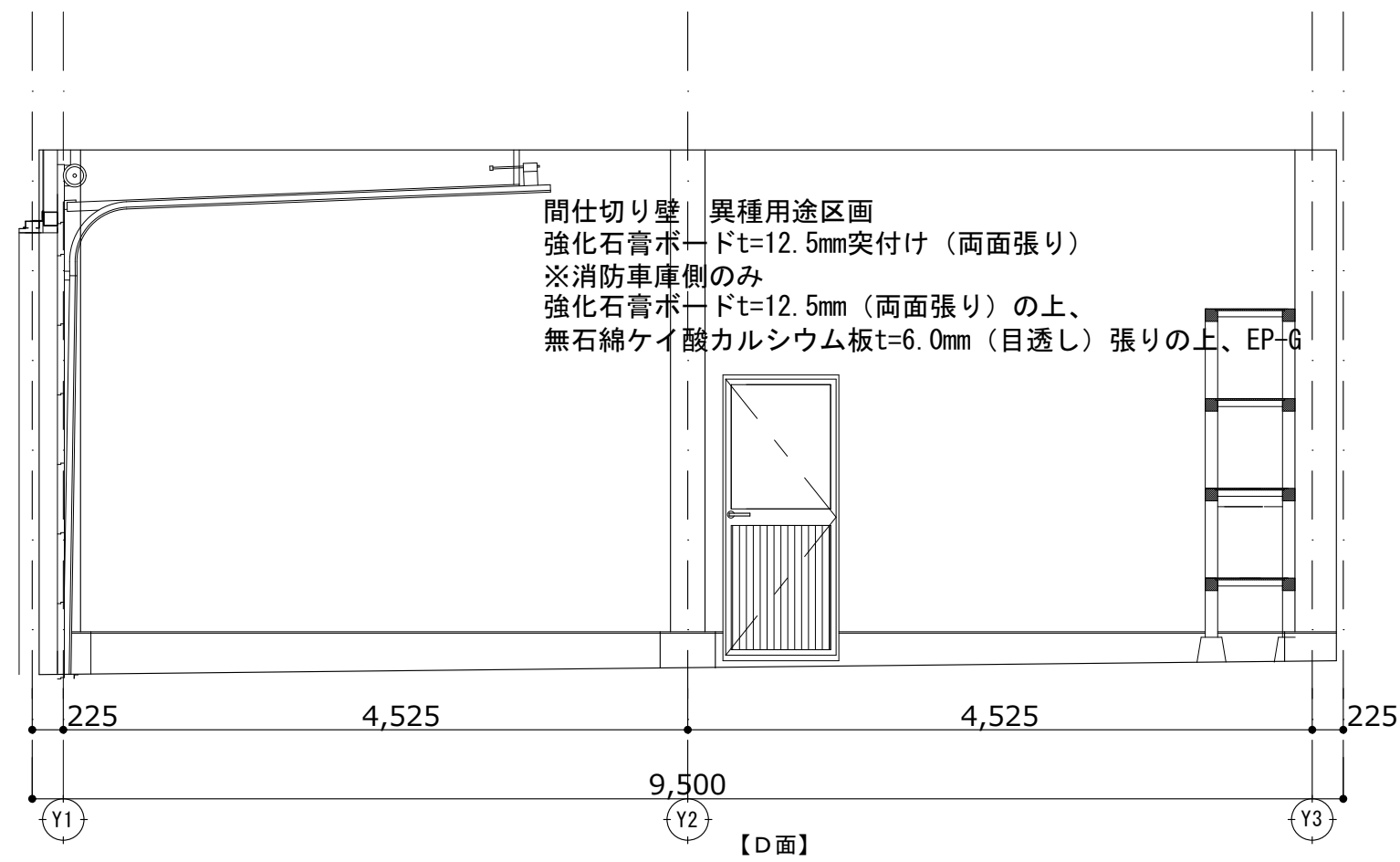
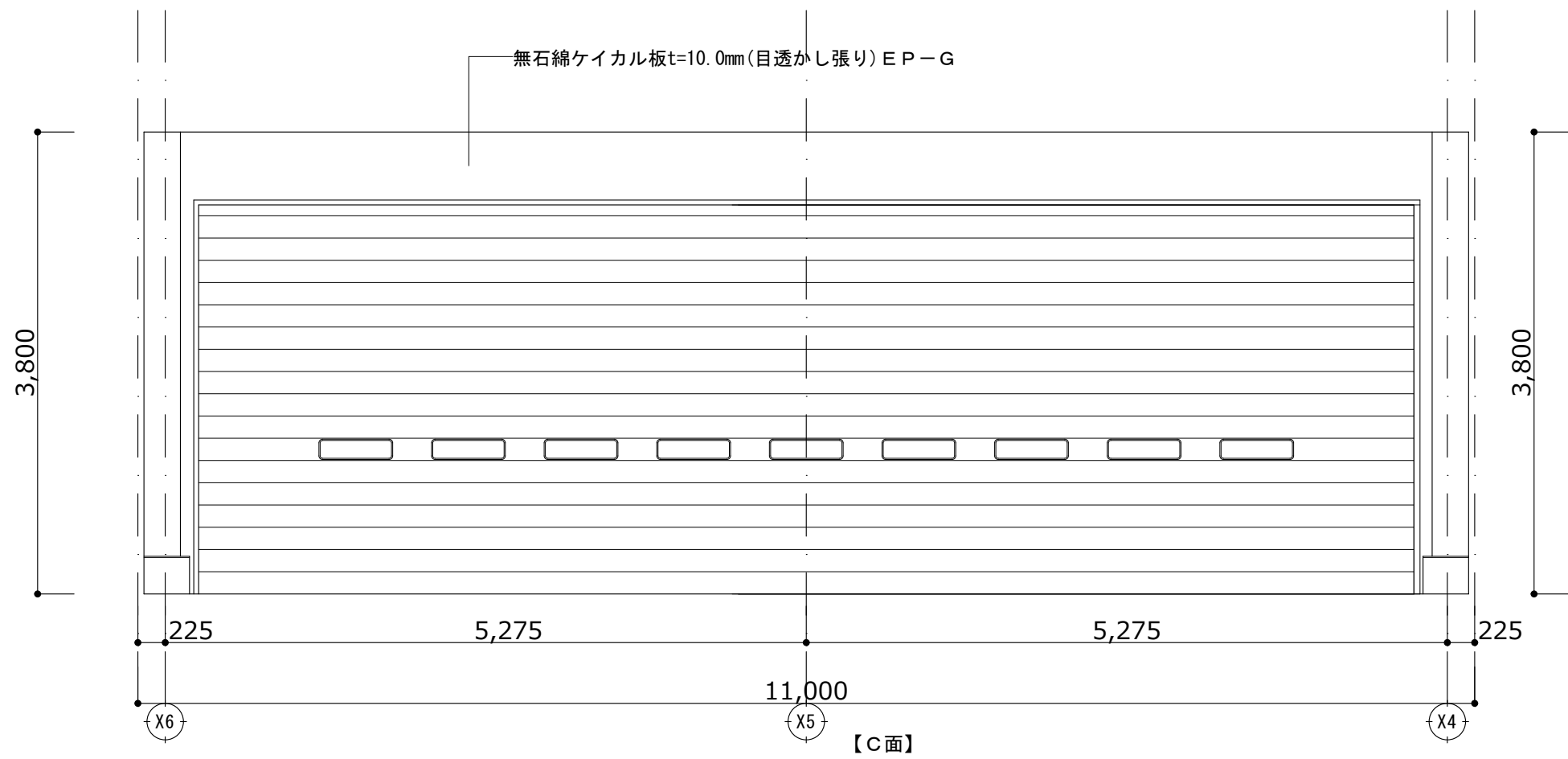
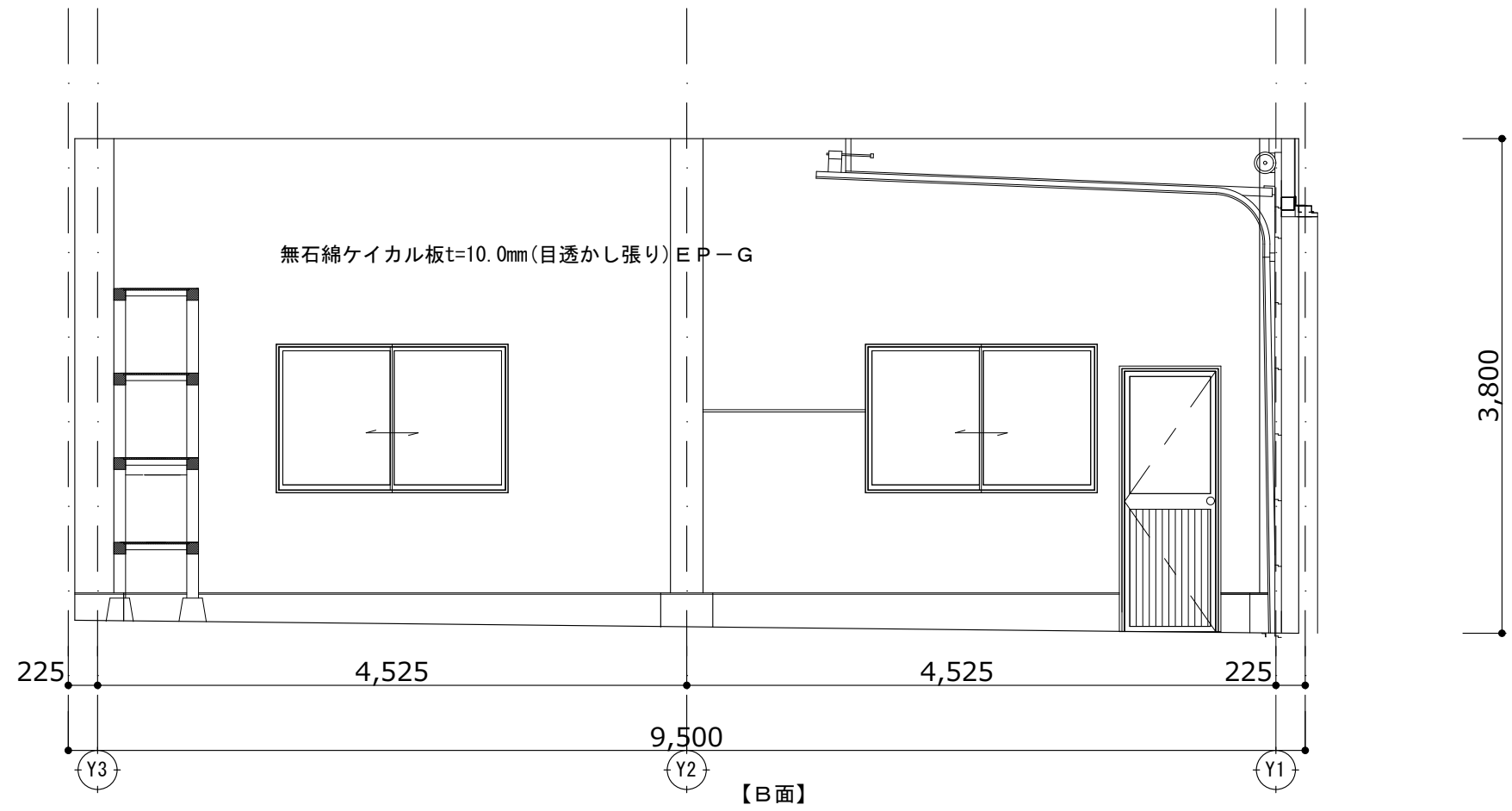
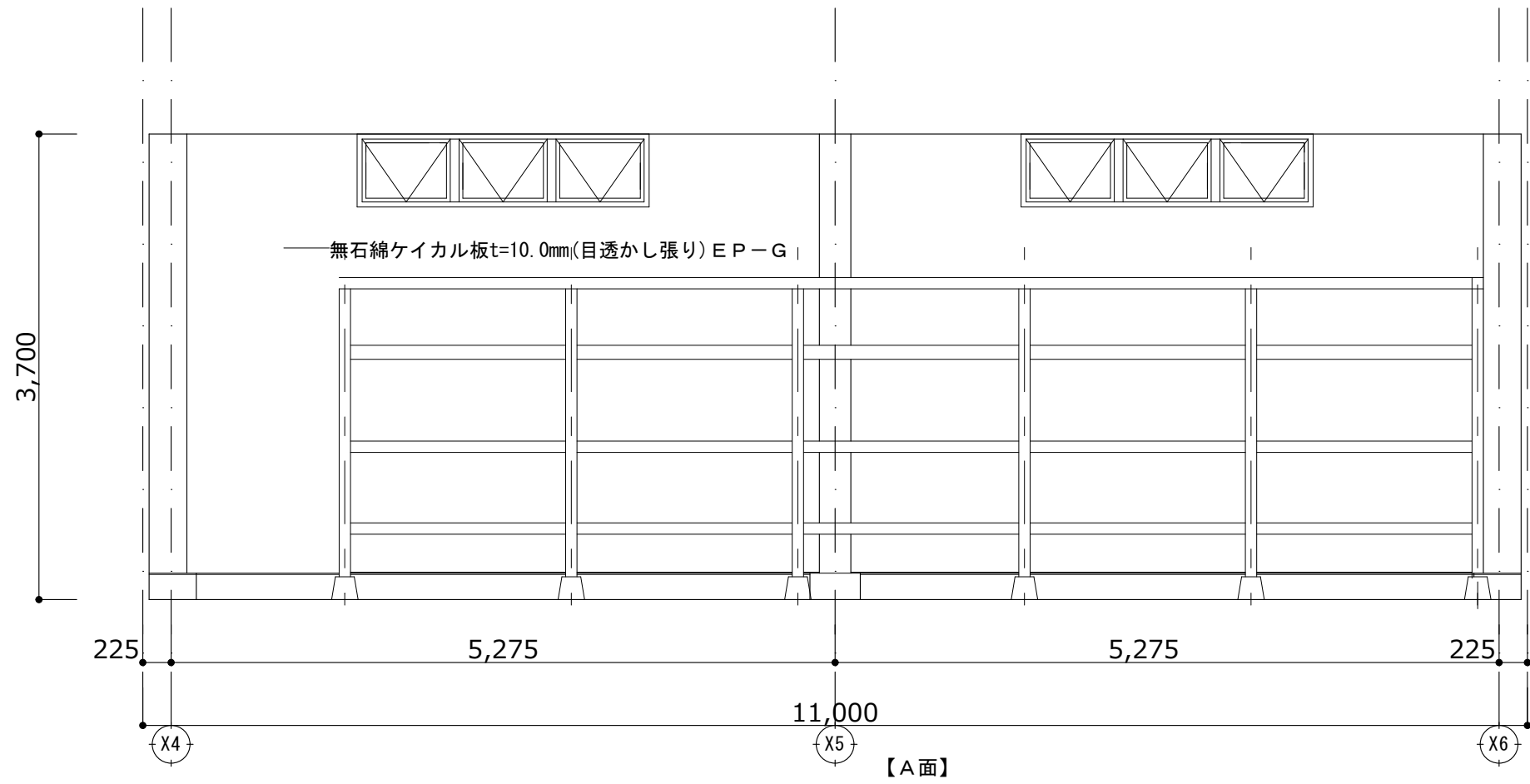
図面名称

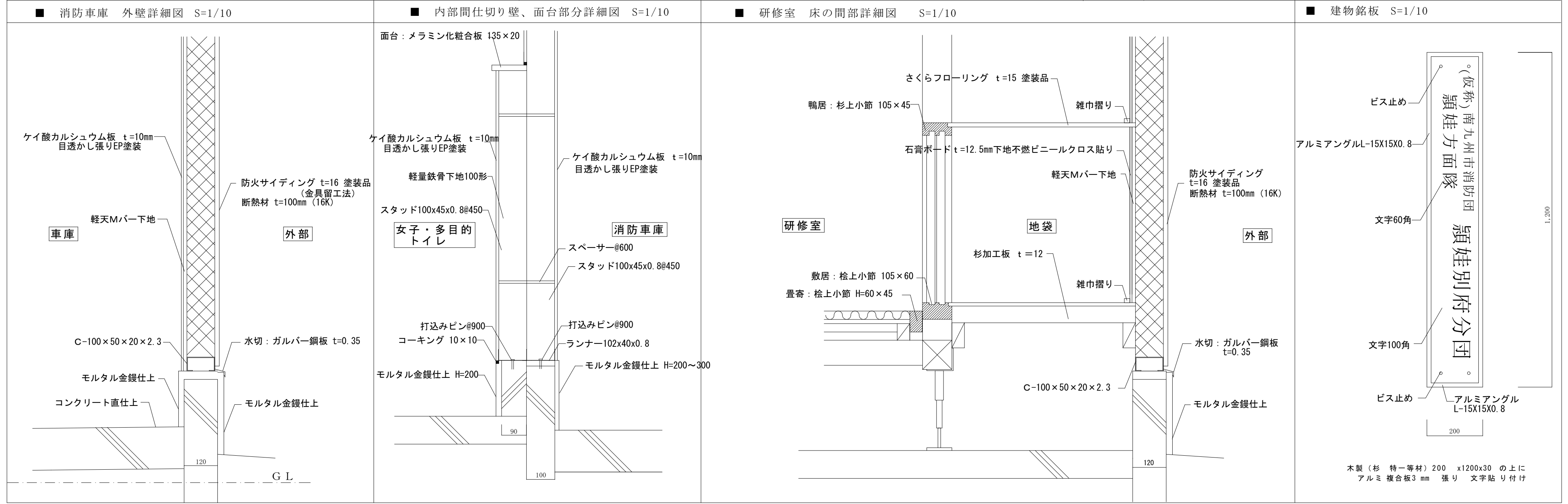
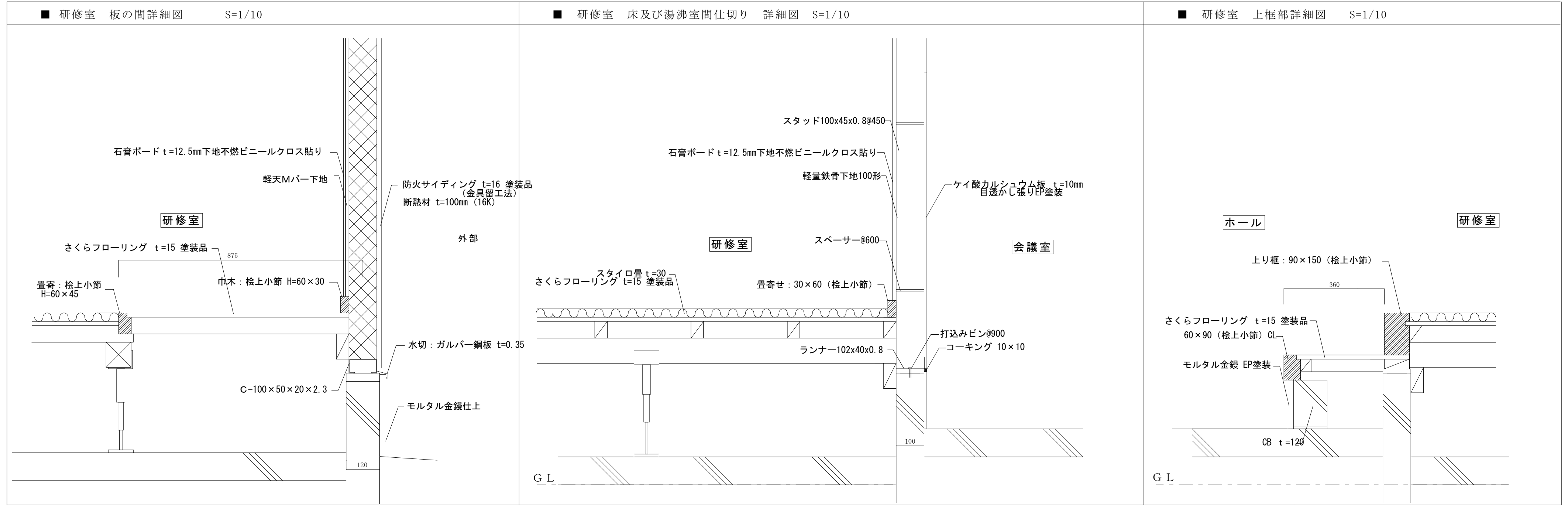
展開図2

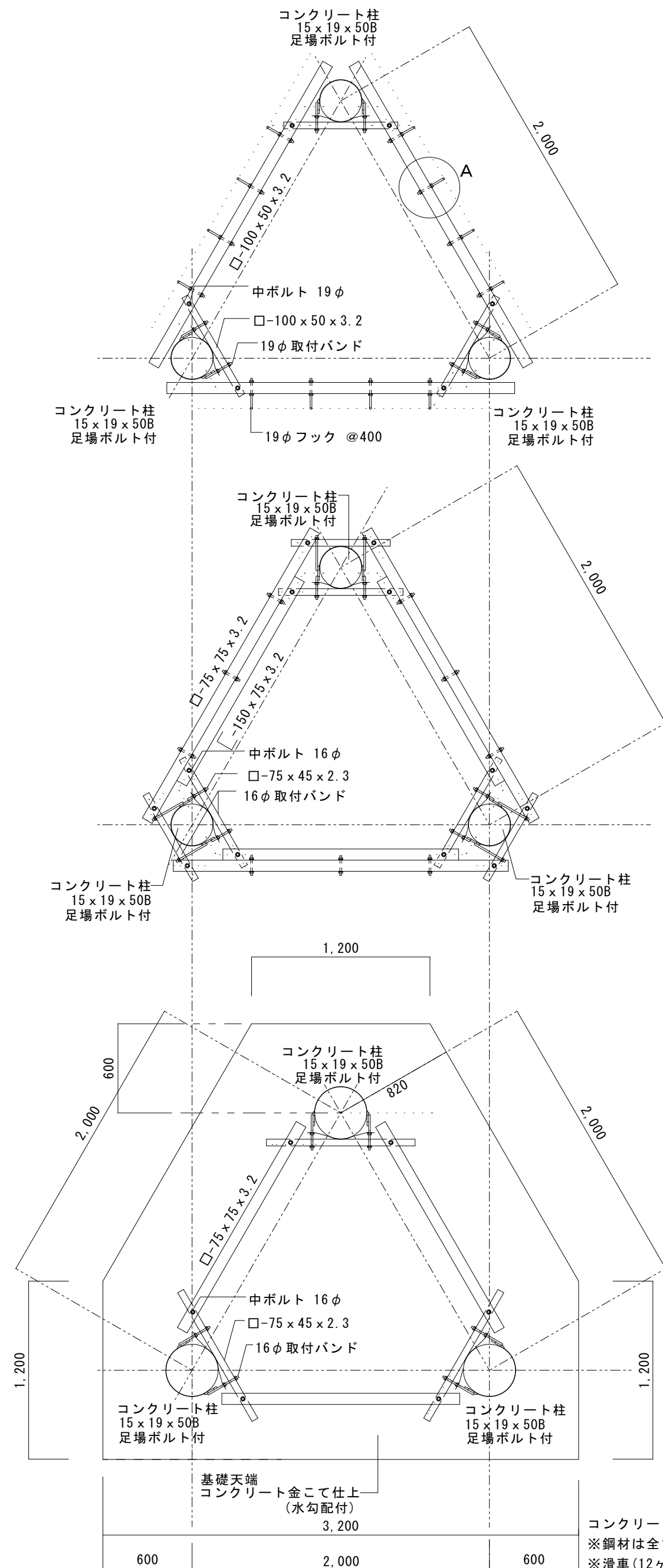
図面番号

A-22

縮尺 NO. SCALE

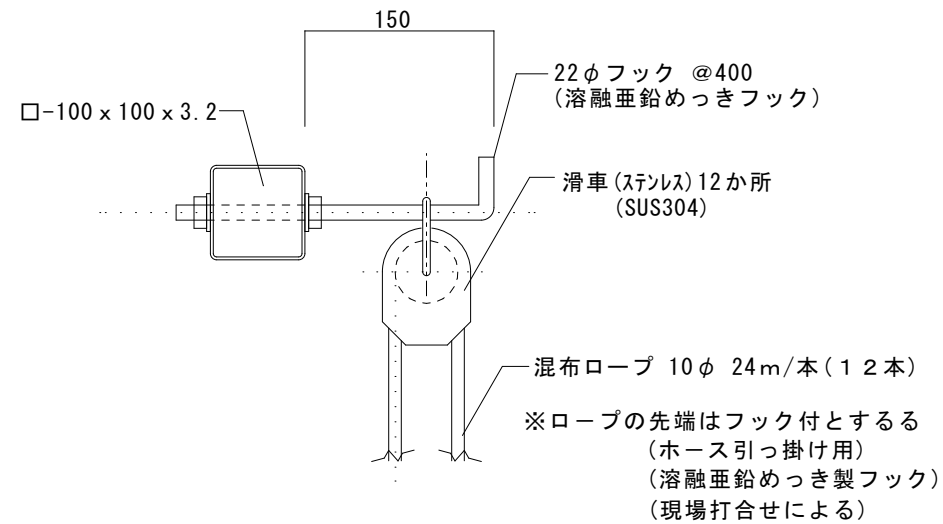




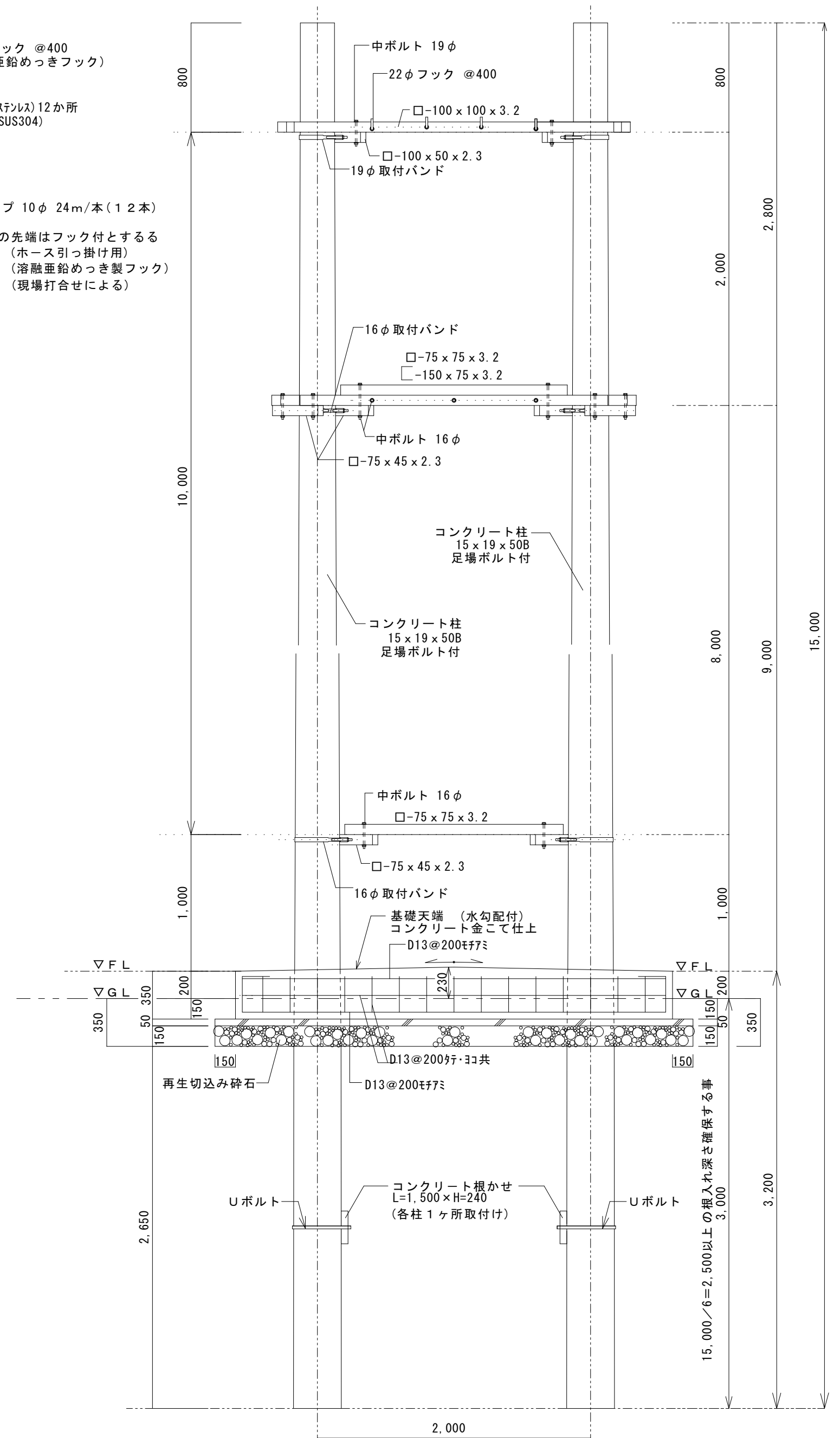


消防ホース掛け詳細平面図
S=1/30

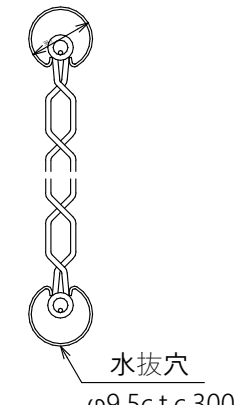
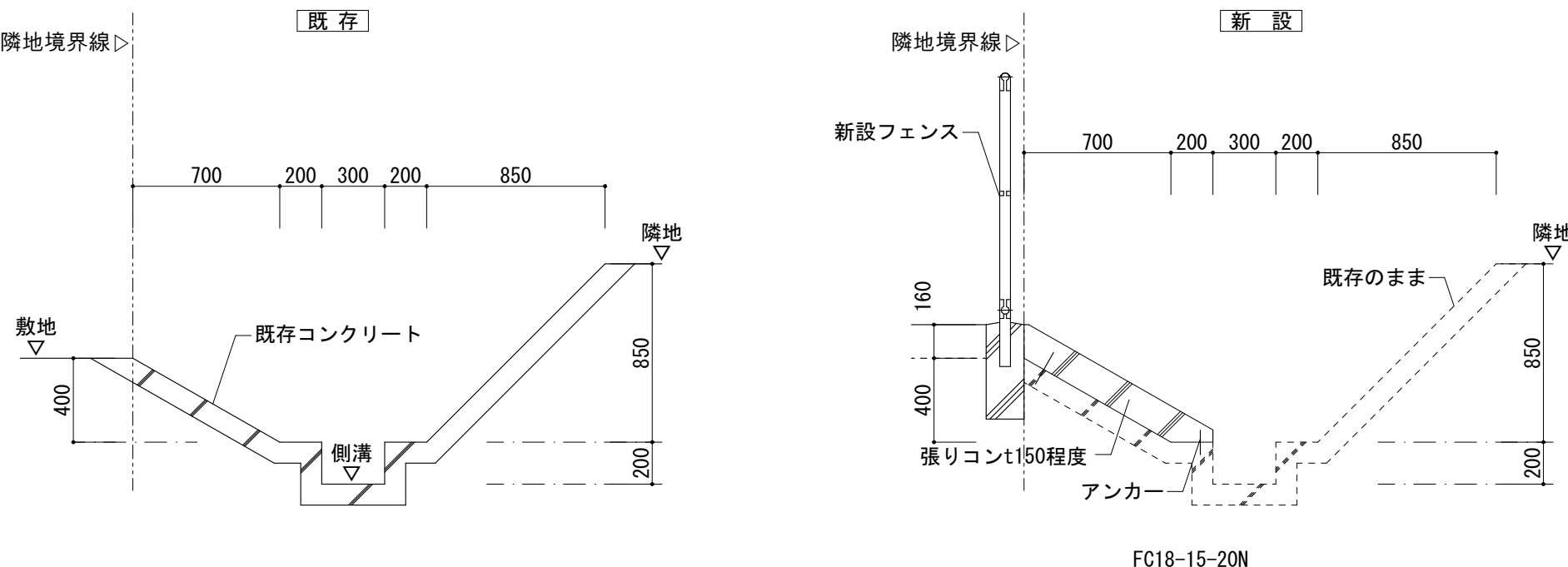
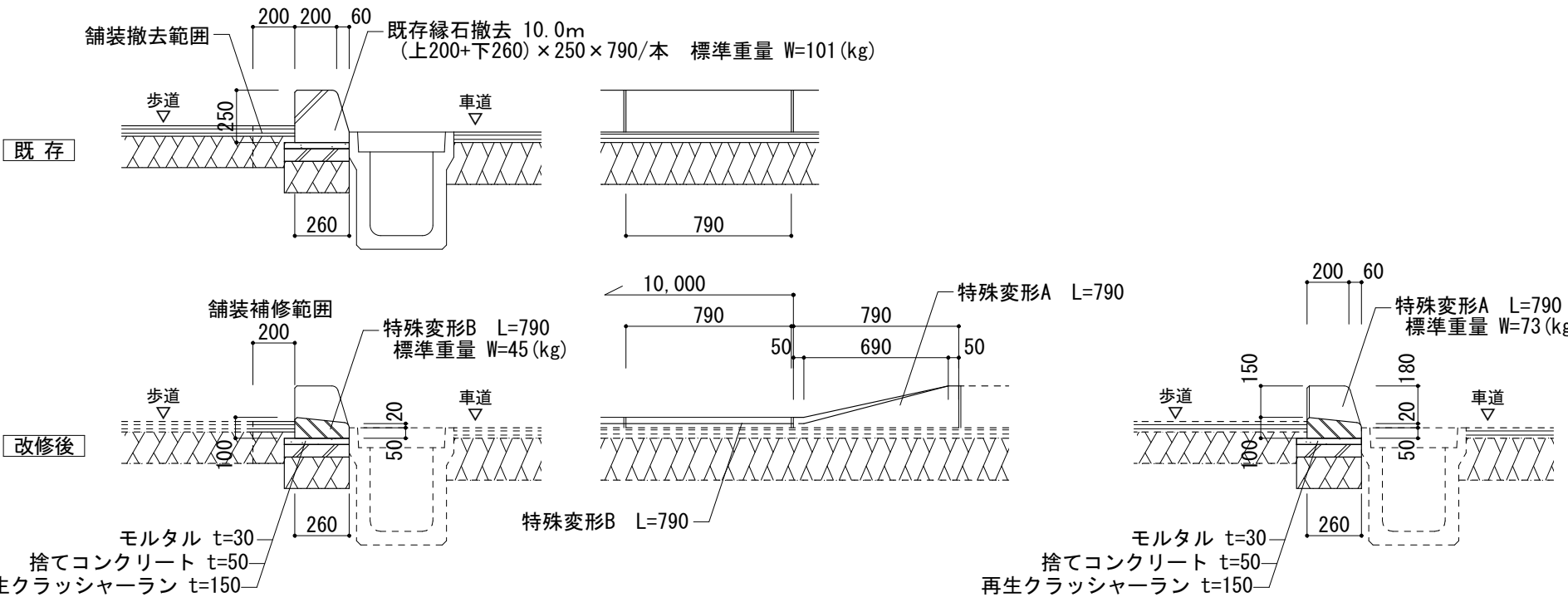
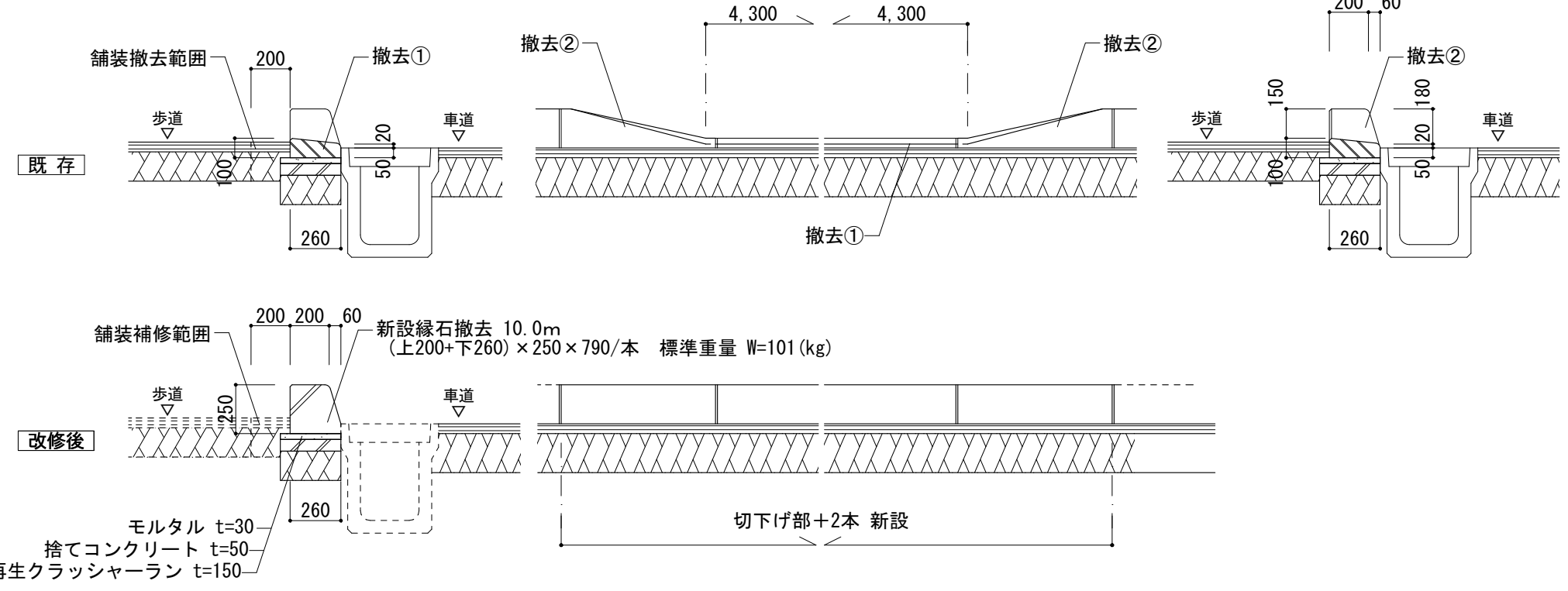
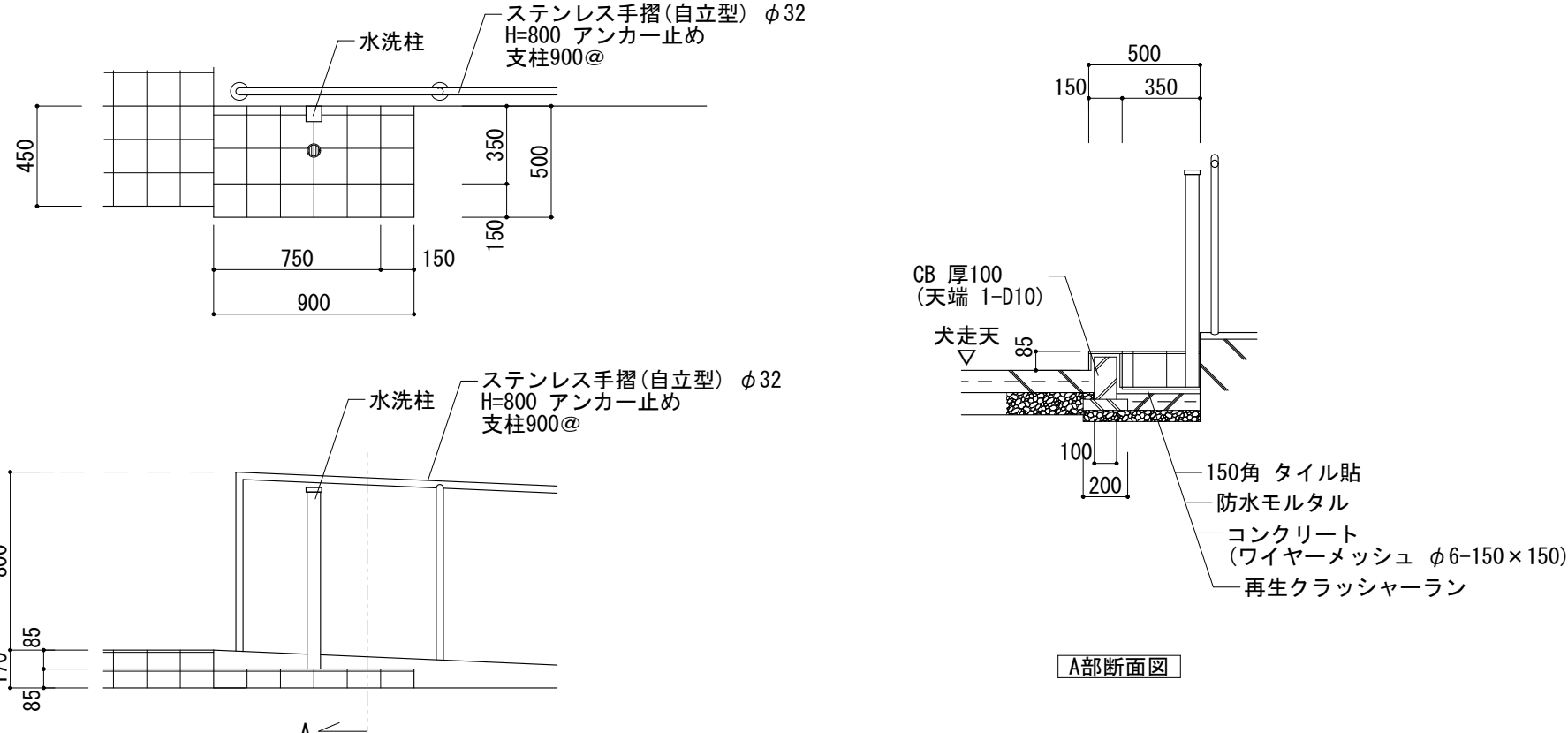
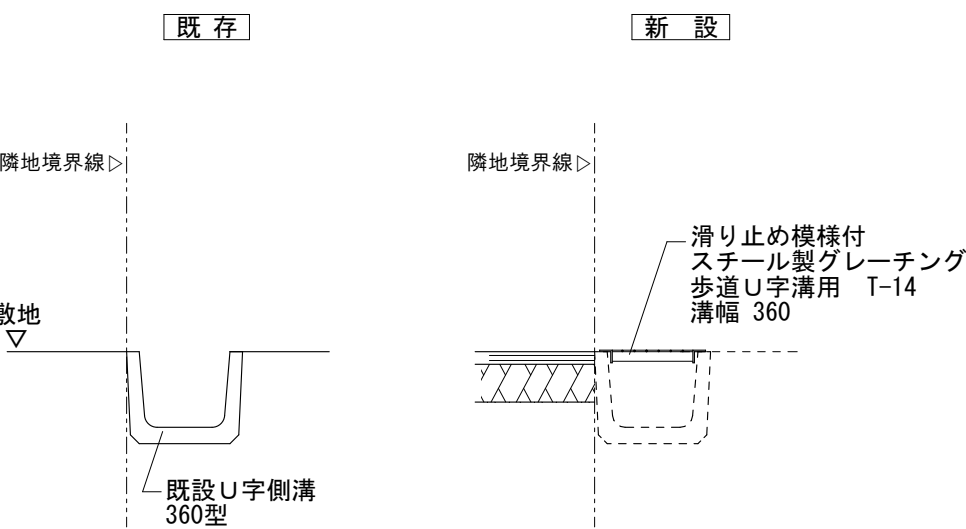
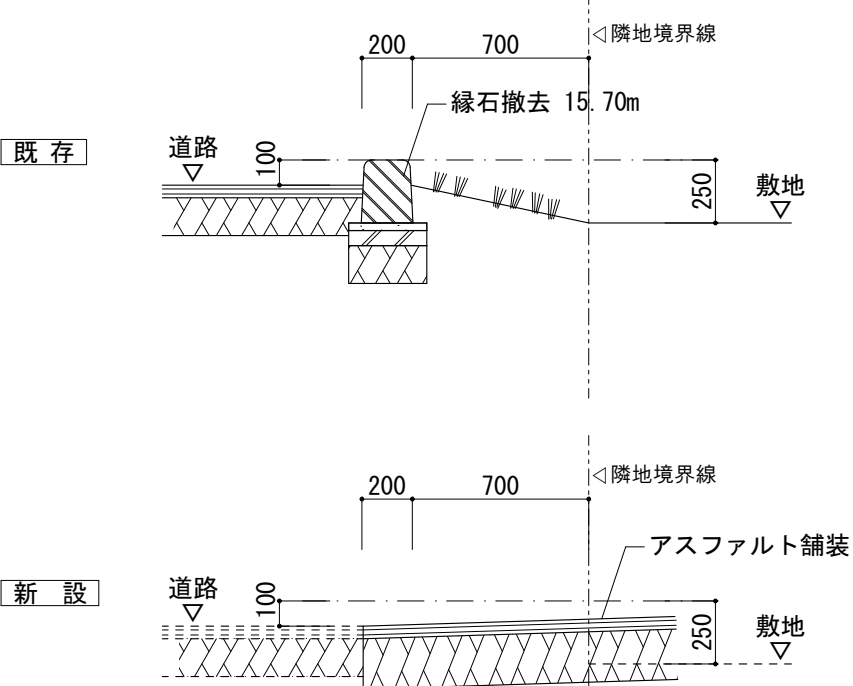
コンクリート柱15×19×50B (19cm=5.0KN-15.0m) ※足場ボルトは1柱に25本とする。
※鋼材は全て電柱工事用部材を使用し、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
※滑車(12ヶ所)はステンレス製(SUS304)とする。
※捨てコンクリート: 18-15-20
※基礎コンクリート: 21-15-20



A部断面図 1/10



消防ホース掛け詳細立面図
S=1/30

ネットフェンス詳細図 S=1/30				東側境界納まり図 S=1/30																												
PC-A1200 (昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力GL+0mに依る) 設計条件 設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る 基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/m² (10 t/m²) 備考 1. 外装は金網類を除く他は溶融亜鉛めっきとする 2. 本柵の金網規格は下記の通りとする φ2.6×40mm、φ2.6×56mm φ3.2×50mm、φ3.2×56mm  水抜穴 φ9.5c.t.c.300 胴縁に金網取付 断面図				 FC18-15-20N																												
歩道切下げ部詳細図 S=1/30				歩道切下げ部やり替え詳細図 S=1/30																												
 既存 改修後 舗装撤去範囲 舗装補修範囲 特殊変形A L=790 特殊変形B L=790 モルタル t=30 捨てコンクリート t=50 再生クラッシャーラン t=150				 既存 改修後 舗装撤去範囲 舗装補修範囲 撤去① 撤去② 新設緑石撤去 10.0m 切下げ部+2本 新設 モルタル t=30 捨てコンクリート t=50 再生クラッシャーラン t=150																												
足洗い場詳細図 S=1/30				南側側溝グレーチング設置図 S=1/30		北側境界取合い納まり図 S=1/30																										
 水洗柱 ステンレス手摺(自立型) φ32 H=800 アンカー止め 支柱900@ A部断面図				 既存 新設 滑り止め模様付 スチール製グレーチング 歩道U字溝用 T-14 溝幅 360 既設U字側溝 360型		 既存 新設 緑石撤去 15.70m アスファルト舗装																										
<table><tr><td>図</td><td>月・日</td><td></td></tr><tr><td>番</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td></td><td>・</td><td></td></tr></table>				図	月・日		番	・			・		<table><tr><td>設計年月</td><td>令和</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>承認</td><td>部長</td><td></td><td></td></tr></table>		設計年月	令和	・		承認	部長			<table><tr><td>工事名称</td><td colspan="3">(仮称) 別府分団拠点施設新築工事</td></tr><tr><td>図面名称</td><td colspan="3">外構詳細図1</td></tr></table>		工事名称	(仮称) 別府分団拠点施設新築工事			図面名称	外構詳細図1		
図	月・日																															
番	・																															
	・																															
設計年月	令和	・																														
承認	部長																															
工事名称	(仮称) 別府分団拠点施設新築工事																															
図面名称	外構詳細図1																															
<table><tr><td rowspan="2">図面番号</td><td colspan="3">A-27</td></tr><tr><td colspan="3">縮尺 NO. SCALE</td></tr></table>				図面番号	A-27			縮尺 NO. SCALE			<table><tr><td rowspan="2">図面番号</td><td colspan="3">A-27</td></tr><tr><td colspan="3">縮尺 NO. SCALE</td></tr></table>				図面番号	A-27			縮尺 NO. SCALE													
図面番号	A-27																															
	縮尺 NO. SCALE																															
図面番号	A-27																															
	縮尺 NO. SCALE																															

AS型集水桝標準断面図 (1) S=1/30

平面図

610

400

断面図

610

400

65

H

h

150

100

100

610

710

インバートコンクリート

$\sigma_{ck}=18N/mm^2$

基礎コンクリート

$\sigma_{ck}=18N/mm^2$

基礎材

数量表 (400×400×600)

名 称	摘 要	計 算 式	数 量	1基当り 単 位
軀 体			1.00	基
基面整正		0.710×0.710	0.50	m2
基礎材	t=100mm	0.710×0.710	0.50	m2
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.100×0.710×0.710	0.05	m3
基礎型枠		0.100×0.710×4	0.28	m2
インバートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$		0.01	m3
グレーチング蓋	400×400用		1.00	枚

※基礎碎石は必要に応じて計上して下さい。
※グレーチングは、ボルト固定式、又は110度開閉式いずれかになります。

AS型集水桝標準断面図 (2) S=1/30

平面図

610

400

断面図

610

400

65

H

h

150

100

100

610

710

インバートコンクリート

$\sigma_{ck}=18N/mm^2$

基礎コンクリート

$\sigma_{ck}=18N/mm^2$

基礎材

数量表 (400×400×800)

名 称	摘 要	計 算 式	数 量	1基当り 単 位
軀 体			1.00	基
基面整正		0.710×0.710	0.50	m2
基礎材	t=100mm	0.710×0.710	0.50	m2
基礎コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$	0.100×0.710×0.710	0.05	m3
基礎型枠		0.100×0.710×4	0.28	m2
インバートコンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$		0.01	m3
グレーチング蓋	400×400用		1.00	枚

※基礎碎石は必要に応じて計上して下さい。
※グレーチングは、ボルト固定式、又は110度開閉式いずれかになります。

雨水排水管路図 S=1/60

図

冊

月・日

株式会社 田代設計工房

〒892-0818 鹿児島市上本町3番9号

設計年月

令和 .

工事名称

(仮称) 別府分団拠点施設新築工事

図面名称

外構詳細図2

縮尺 NO. SCALE

図面番号

A-28